

# からぼり川

がたろう通信

第 101 号

2020年2月15日  
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## あけましておめでとうございます

友保 邦弘

2020年、新しい令和の時代の幕開けです。当会はNPO設立20周年を迎え、会報も記念の100号を発行しました。また東京都北多摩北部建設事務所と画期的な取り決めを合意しました。馬頭橋から第二砂川橋までの約700mに及ぶ「空堀川子どもの水辺 WAKUWAKU 広場」の河道内樹木の管理方法が決まりました。

- 左岸側樹木の約60本、右岸の約40本は伐採・抜根しない
- 当会がボランティアでゴミ除去、ヒコ生えの整理、2mまでの下枝の剪定を行い、東京都が枝葉の処分と樹高を下げる枝下しを行なう

当会の紹介ビデオにもある通り「川は生態系のコリドー（回廊）」と言われています。すなわち自然豊かな川は水とみどりが繋がっていることが大事です。そのために河道内の樹木を残して適正な管理をすることにしました。

空堀川に木が生えていると水流の妨げになり、洪水の危険が増すというのは間違いです。なせなら仮に空堀川を川巾1mと仮定してみましょう。そこに生えている樹木は割りばし1本を立てた程度なのです。

空堀川に清流を取り戻し、みどり豊かな水辺空間を生みだすことに多くの皆様のご支援をお願いします。



## 第45回クリーンアップ実施

— 野外活動日和に恵まれて —

岡田 一郎

第一会場は33名、第二は55名の総計88名の参加者が晩秋とはいえ温かで穏やかな半日を楽しみながら怪我などもなく活動いただきました。

初参加者の緊張を和らげ活動時の捻挫等防止に資するよう、活動開始前に原田理事の主導で準備体操（軽運動体操）を初めて取り入れてみました。

毎回活動終盤の参加者全員で行うゴミ分別作業後にクリーンアップ美化横断幕を掲げた参加者風景を記録写真に収めてきましたが、久しぶりに活動開始時に集合写真を撮りました。



参加者を「からぼり広場」中心に二分して、上流組は小池(久)氏がリーダーで上橋まで担当、下流組は原田理事がリーダーで久米川橋まで担当、リヤカーによるゴミ集荷担当を森永社若手の男女各1名と岡田の3人が、受付等の本部担当の任は小川恭子さんが担いました。

7月に当会が「空堀川の自然観察と川遊び」の折に支援活動をした富士見子ども会サロンの代表・門脇様親子が参加し、「子どもが川に親しみ、空堀川関心度を喚起する新プログラム」の毎年定期的開催を希望されました。

長年使用してきた70Lゴミ袋の在庫が無くなり、新たに小型の45L(64.3%小型化)に代えてみました。以前使用の70L袋に換算すると【21袋】で、ゴミ量は激減しており分別作業もタイムテーブル通りに終了することができました。

全ての作業が事無く終了できた謝意を述べ、11時半から集会所にて分家特製の豚汁の由来譚などを紹介し、原田理事の給仕で参加者全員が歓声を上げ、かつ談笑の語らいの中で豚汁を美味しく食しました。

理事長が最近庭の植込みを手入れされたマンション1階住いの老婦人と、小川さんが声掛けされた男性が初参加され、それぞれに活動の意義等を述懐されておりました。

## 【 当日参加者 】

参加者	一般	企業	行政	当会	合計	備考	区 間
第1会場	7	18	0	8	33	小学生2名	上橋～久米川橋
第2会場	15	28	3	9	55	子ども8名	なかよし橋～大沼田橋
合計	22	46	3	17	88	10	

\*天王橋～なかよし橋は11月9日に事前実施

## 【 当日回収物 】

内訳	可燃	不燃	ビン	カン	ペット ボトル	自転車	粗大ゴミ	処理困難物
第1会場	33	1	1	2	1	0	電子レンジ 1台	0
第2会場	13	2	1	3	1	0	46インチ TV 1台	0
合計	46	3	2	5	2	0		0

## — 事前クリーンアップ —

垂水 荘司

毎年恒例の春と秋に2回空堀川のクリーンアップを実施しております。5～6年前より第二会場の一部、西武新宿線架橋～なかよし橋間を事前にクリーンアップを行うことにしております。限られた時間内に終える為には、作業範囲を短くしなければなりません。今回も秋の事前クリーンアップを、東村山市産業祭の第1日目の11月9日に実施しました。午後1時半に天王橋に集合、川の中3名、道路わきで700入りの袋詰めゴミを受け取り役1人の4名でした。幸い北北建発注の業者により、長い草は刈られていた為収集しやすい環境でしたが、10月の3度の台風による大雨等で沢山のゴミが樹木の枝に掛かって（特にビニール袋）取り除くのに大変な労力と時間を要しました。

クリーンアップの範囲としては、橋を7本くぐり抜ける一番長い距離です。下流の他の区間では8名から10名程度で行いますが、今後はもう少し人数を揃えて行う事を提案していきたい。今回は本番のクリーンアップを一週間後に控え、立て看板の作成取り付け、チラシをフェンスに張り付ける人達と手分けをした為、人員不足は否めなかったかもしれませんが今後の課題です。この区間は日くつきのエリアです、同じようなゴミ袋が等間隔に捨てられており、クリーンアップの1週間後から徐々に増していくようです。大岱小学校の通学路です、子供たちの目にはどの様に映っているのでしょうか？ 毎朝登校時には大岱小学校の女性教師は生徒の安全管理の傍ら通学路のゴミを拾っています。生徒はその行為を見つめています。増えていく川の中のゴミを子供達の目にはどの様に映っているのでしょうか？ 秋のクリーンアップ後すでに沢山のゴミが見受けられています、これらを片付けて新年を迎えられる様にしたいものです。

(4)

## 第3回東村山市環境フェアに参加しました

平田 健一

2019年11月12日～17日に開かれた東村山市環境住宅課 主催の環境フェアに参加しました。市民団体は、当会・北川かっぱの会・東村山エナジーとガイガー東村山&ガイウェイ東村山が参加しました。その他に、東京ガス(株)多摩支店、ごみ減量課、下水道課、みどりと公園課でした。

前回同様、空堀川の現状と原因・対策、当会の活動、水質調査の結果、放射線量の測定結果についてA1のパネル6枚、空堀川の魚（コイ・オイカワ・モツゴ・メダカ・ヤゴ・エビ）、関係する本・表彰状等を展示し、川あそびの楽しさを伝えられるようにしました。空堀川の魚の展示には前回もですが「本当に空堀川に魚がいるんですか？」と聞かれました。今日、「捕まえたばかりです。」と言うとビックリされていました。今回は、市内の建材業者さんのご協力により、浸透櫛の現物の展示をしました。すぐ横に下水道課の浸透施設・貯留施設のパネルと助成金のパンフレットを置いていただきました。その横には、みどりと公園課の生け垣の助成金のパンフレットです。



できるだけ、当会会員が交代で説明しました。皆さん、お疲れ様でした。

11月12日(火)には、JCOMが取材に来て、翌日の13日午後5時からのデイリーニュースで放映されました。全体で約2分間、友保理事長のインタビューは1分弱でした。

11月16日には、渡部市長にも来ていただきました。この土日曜日には、東京ガスのガスパイプのリサイクル材料を使った風車作りもあり、ひがっしーも来てくれました。



ひがっしーも！

今回は、土日一般の方が来られるイベントが無かったのですが、前回に比べ大幅に増えて6日間で521名の方が来られたそうです。(前は、2018年12月18日～23日の年末だったため、303名。1回目は、2018年1月23日～28日で372名。)

隣接する清瀬市や東大和市は、屋外で1日だけですが、もっと大規模で多くの市民団体が参加し、来場者はずっと多いです。来場者を増やす方法としては、会場の変更・周知方法・参加団体の増加策・日程の変更が考えられます。反省会で出た提案は以下のとおりです。

- ・会場は、サンパルネという提案もありましたが、東村山駅の地下化で特に東口からは行きにくくなり、人が集まらないとのことで次回も今回と同じ中央公民館になりそうです。

- ・周知方法は、市報・市役所のホームページには載せているが、FB、ツイッター等のSNSを活用する。当会も上町さんがFBに載せてくださいました。

- ・参加団体が少ないことに対しては、学校他の団体に担当課から呼びかける。知っている団体があれば、担当課に連絡する。

- ・日程は、秋の空堀川クリーンアップと重なってしまいました。11月第2週は市民産業まつりがあり、11月末は連休があるので、日程の変更は難しいとのことです。

他に、何かいい方法があれば、教えてください。

当会としては、次回は展示内容を少し変えようと思います。

できるだけ多くの方に来ていただけるように、空堀川の楽しさを伝えられるようにしたいと考えています。



渡部市長も！



空堀川の魚の展示

# ヒマラヤ杉の松ぼっくり

小池 一平

美住町第三仲良し広場にある「ヒマラヤ杉」はご存知ですか？

きれいな円錐形の樹形をした大木です。原産地は名前の通りヒマラヤ山脈です。

大木になりますので大きいものは、高さ40～50m、幹の太さは直径3mにもなります。

杉という名ですが、マツ科の樹木です。

(ですから松ぼっくりができます。)

この木は雌雄同株で若い木は「雄花」しか付きません。老木になるにしたがって「雌花」が付き始めます。

おおよそ30年を超えるころからととわれています。

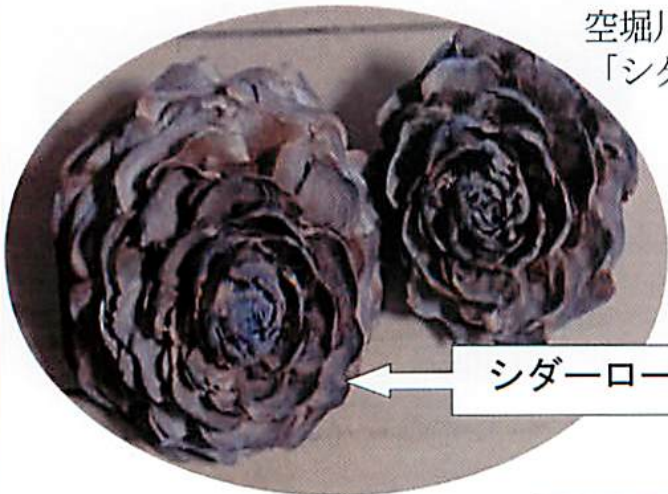
第3仲良し広場のヒマラヤ杉は、老木へ足を踏み出したのか、松ぼっくりがついています。

この松ぼっくりはとても大きく、徐々に少しずつ傘が開いていきバラの花のようになります。

これは「シダーローズ」とよばれ「手芸用品」とか「クリスマスリース」によく使われます。



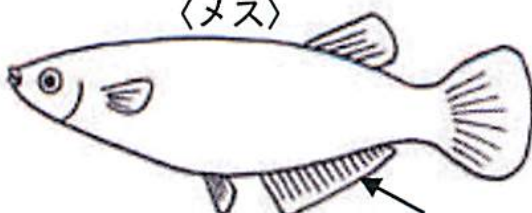
空堀川散策のついでに第3仲良し広場で休憩をし「シダーローズ」を探しては如何でしょうか。



シダーローズ！

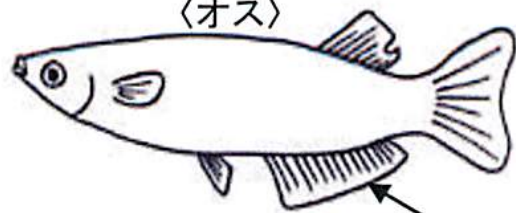
## メダカ図鑑

〈メス〉



おなかが大きく、尾ひれが小さい

〈オス〉



スマートで、尾ひれが大きい

## メダカの飼育日記

小川 恭子

去年と一昨年、夏休みの終わりに、御成橋の近くのワンドでガサガサが行われたときに、メダカが捕獲されました。

参加していた子供たちから2匹分けてもらい、自宅で飼い始めました。

気が付かなかったけれど、つがいだったので、毎日のように産卵を始めました。ラッキー！

自宅の猫も興味深々で、一緒に観察をしてくれました。

去年の孵化した子供たちは、里親が見つかり、ずいぶん、養子に出しました。



今年は、白メダカが捕獲され、また分けてもらいました。たくさん産卵しましたが、かなりな卵が白濁してしまい、孵化するものが少なくなっていました。

水質も良くないといけないようです。

親メダカは、結構丈夫ですが、子供たちは、注意深く育てなければいけないようです。

親メダカに食べられてしまう危険もあります。

メダカについて調べてみました。

○メダカの寿命：1～2年

※飼育下ではその限りではなく、長いものでは3～5年程度

○適正温度：15～28℃

○生存可能温度：3～42℃

※年中無加温でも大丈夫です。

○産卵開始水温：18～20℃以上(産卵時期は、4月～9月頃まで)

○水質：弱酸性～弱アルカリ性

※1日以上くみ置いてカルキを抜いた水を使用してもよい。

我が家には水槽がなかったので、去年は、100均で蓋付CD・DVDケースを購入して、リビングのテーブルで観察。

現在は、梅酒のビンの中に環境を作り、鑑賞中です。

最近、メダカの飼育がブームにもなっているようです。熱帯魚ほど、気を使わなくてもよいのが人気のようです。

卵の中に目玉が確認できて、子メダカが孵化するのを待つのも、小さな子メダカが一生懸命泳ぐのを見るのも、とても癒されます。命の大切さを感じ、大切に飼育しています。



これまでの経過と今後の予定  
(2019/10/2～2020/5/9)

- ◎10/2 会計担当引継ぎ  
(安岡→平田・岡田)  
第三仲よし広場トイレのドア修理依頼
- ◎10/7 9期第6回流域連絡会
- ◎10/14 刈払い作業用防護シート購入
- ◎10/15 秋の定例作業  
～21
- ◎10/19 第247回定例会 - 台風延期  
がたろう通信第99号発行
- ◎10/31 刈払い機修理
- ◎11/9 第248回定例会  
事前クリーンアップ、看板・ポスター
- ◎11/12 環境フェア  
～17 Jcomインタビュー
- ◎11/15 川見て歩き(千曲川)
- ◎11/16 第45回秋のクリーンアップ  
下堀・ふれあい堆肥の処理
- ◎11/22 中橋・市民植栽「花壇」  
チェック
- ◎11/25 中橋・市民植栽「花壇」  
撤去の北北建説明会
- ◎11/27 子どもの水辺樹木管理の立会
- ◎12/4 中橋・市民植栽「花壇」  
条件付維持管理継続説明会
- ◎12/7 4市一斉野火止用水ゴミ拾い
- ◎12/12 がたろう通信記念号打ち合せ
- ◎12/14 第249回定例会
- ◎12/17 忘年会@ぼん天
- ◎12/21 第15回川でつながる発表会  
@東大和市
- ◎12/22 久米川町まちかど運動
- ◎12/24 広苑各2カ所に堆肥看板設置
- ◎1/11 第250回定例会
- ◎1/17 がたろう通信記念号打ち合せ

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円,  
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円  
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円,  
団体・法人会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町2-19-10

友保 (ともやす)

TEL/FAX : 042-394-9978

\*\*\*\*\*

- ◎2/8 第251回定例会
- ◎2/14 流域連絡会(柳瀬川観察会)
- ◎2/15 がたろう通信記念号  
がたろう通信101号発行
- 3/14 第252回定例会
- 4/11 第253回定例会  
事前クリーンアップ
- 4/18 第46回春の空堀川  
クリーンアップ
- 4/ 流域連絡会
- 5/ 会計監査
- 5/9 令和元年度 第21回定期総会  
第254回定例会
- 5/ 子どもの水辺の樹木管理作業



# からぼり川

がたろう通信

第 102 号

2020 年 5 月 16 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## 新型コロナウイルス

友保 邦弘

「新型コロナウイルス」は一向に終息する気配がありません。世の中は大騒動です。今こそ全ての日本人に問います。この事態の意味する本当のことを知らないで「やれ マスクが足りない」とか「クラスターだ、オーバーシュートだ、ロックダウンだ」とかホザイテイル日本人のなんと多い事か。でも・・・ボクちゃんは知っている！これは神様のお告げである。産業革命以降に積み重ねてきた人類の欲望のカタマリで地球が破滅するのを回避する厳粛な試練であります。生物多様性を破壊して野生生物と人間との共存関係を根底から損なったツケが回って来たのです。ライフスタイルを根本から見直さなければなりません。

毎日風呂に入ったり、シャワーを浴びたりする人がいます。毎日肌着や着物を洗う人がいます。毎日掃除機をかける人がいます。私は洗濯や掃除にある種の疑問を持っています。特に洗濯は「洗剤」というゴミを「追加」して衣類から汚れを「移動」しているだけで、汚れを無くしているわけではありません。

卵は一日 2 個までは食べても良い・・・などと、毎日卵を食べている人がいます。腹がへっているわけでもないのに、ただ惰性で三食食べている人がいます。

私は 40 万円で念願の入歯をつくりました。具合がすこぶる良いので、ひとくち 40 回噛んで食べます。消化吸収が抜群なのと咀嚼による食欲中枢の刺激によって腹 6 分ぐらいで満腹です。これは大きいです。食糧節約だけではありません。出てくるものは消化されない硬い繊維質だけですので、トイレは一日おきです。しかも臭わないので貯めておいて（観察もできる）から流すので水の使用量が大幅に減ります。心臓に持病のある 83 歳のオイボレですが現役の庭師で木に登っております。

まだ乗れる自転車が捨ててあります。自分の家より新しい家を壊しています。髪の毛を染めている人がいます。カツラを被っている人もいます。数え上げればキリがありません。景気が悪くなると嘆くことはありません。節約へちになれば良いのです。原発もペットボトルもオサラバすれば良いのです。農・林・漁業者を国家公務員にして優遇しましょう。 コロナウイルスよ！どこからでもかかってこい！

## 「筑後川見てある記 デ・レーケの導流堤」

分部 光春

世の中を騒がす、未知のウイルスの為に大変な事になっていますが「がたろう通信」が無事発行できありがとうございました。ご尽力頂いた皆様にお礼申し上げます。

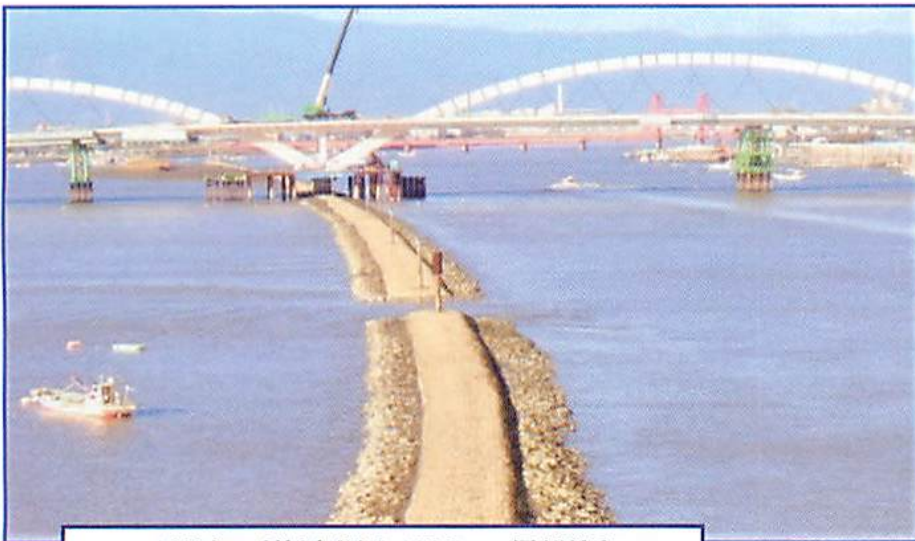
常に人類は色々な脅威に打ち勝ってきましたが、今回の騒ぎもワクチン開発や有効な新薬の開発できっと解決されると信じて頑張りましょう。ワクチンや新薬開発の研究者の皆さん頑張ってください。自粛生活を支える業種で頑張る皆様ありがとうございます。

さて「川を見てある記」も回を重ねましたが、今回は泥の脅威に打ち勝って、文明開化を推し進めた、筑後川の導流堤を、仕事のついでに見に行ってきました。導流堤とは川の流れを狭くして、水流を速めて泥を堆積させない工法ですが、当時重要な運搬手段であった水運事業が、筑後川では泥の堆積により妨げられ、重要なコメの集積地の若津港などに大きな船が入れず難儀していたとか！そこで明治政府はオランダ人技師のデ・レーケの指導で日本人技師の石黒五十二が設計した、導流堤を難工事の末に完成させ、干満差6mの潮位差に打ち勝ち百数十年に渡り立派に機能している河川土木遺産でほんとに頭の下がる先人の知恵です。これは空堀川の工事にも見習いたいものです。

これまで導流堤を何度か見に行ったのですが、干潮の時でなくては見えず悔しい思いをしましたが、今回は万全の態勢で近くに宿を取り、朝早くに行行って導流堤を見ることができました。干潮時しか土台が出ない工事をどのようにしたか大変不思議です。

100年以上にわたり、筑後川に寄与した大工事に江戸末期の九州雄藩と明治政府の未来を見た政治（水を治める）がすごかったとつくづく思った、筑後川の見てある記でした。（導流堤の難工事どのように行ったか？正解の人には賞品を進呈します）

コロナ騒ぎはウイルスの脅威に備えていなかった人類の不覚、二番目じゃいけないでしょうかなどと、スパコンの研究費を惜しんでいてはいけないと思う分部でした。



明治の導流堤と昭和の昇開橋  
令和の湾岸道路ベストショットです

導流堤クイズの景品



## 水辺の植物を移植

原田 秀二

3月21日、友保理事長以下七名が東大和市の高木橋に集合し、ヨシ、フトイの株を採集し、ガマも何株か欲しいと、さらに上流の奈良橋方向を目指しましたが、河川改修工事で管理道路が封鎖されていたりなどし、ガマの採集には至りませんでした。

採集した株は、府中街道・野口橋上流側に移植し、翌22日には御成橋近くのワンド脇に若干のワンド清掃と移植を行い、付近の川で生き物調査を行いました。野口橋左岸側は改修工事でアシやススキなど含め、一部緑のない土砂だけの丸裸状態となり、このままではせっかく掘り下げた河道が、掻き揚げた土砂が崩れたり抉られたりする恐れがあり、そのための移植計画です。株数は少なかったですが、どうやら根付いたようです。



水辺の植物は、抽水植物（マコモ、ヨシ、ガマなど）と沈水植物（クロモ、カナダモ類）、浮遊植物（浮草類）などがありますが、空堀川の状態では抽水植物のヨシ、フトイ、ガマ類が良いと思います。

これらの水辺の植物は窒素、リンや栄養塩を吸収、酸素の供給をしてくれます。密生すれば河岸の保護となり魚や甲殻類の保護場所を提供します。そこにはヨシキリなど小鳥の生育場所も出来ます。また川面を覆い日陰を作るとアオコの発生を抑えられるそうです。何より緑は人々の心に安らぎと安定を与えてくれます。現在、河原のセイバンモロコシ、セイタカアワダチソウ、その他の雑草などを業者が河原で粉砕、埋設処理をしていますが、これは窒素、リン、栄養塩などの再溶出となるので処理の注意が必要です。

皆様と協働で水辺の植物を増やす活動を進めたいと思います。

(4)

# 川のはなし 5.川に関することば

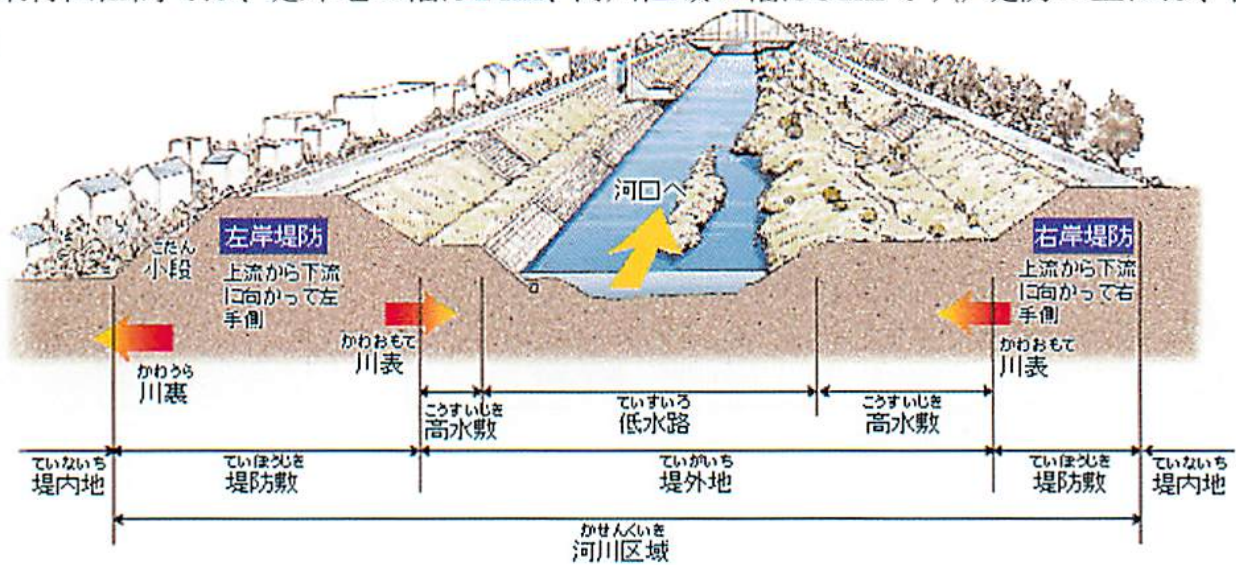
平田 健一

今回は川に関することばを説明します。

<河川の部分のなまえ>

川幅：川幅とは、その名のとおり川の幅ですが、以下の絵の様にとどこまで考えるかで違います。

普通、堤外地の幅を川幅といっています。河川用地の幅は、河川区域までです。空堀川の東村山区間では、堤外地の幅は24m、河川区域の幅は34mです。堤防の上には、管理通



堤内地・堤外地：堤内地は、人が住んでいる側です。堤防で守られた内側という意味です。堤外地は、いわゆる川の部分です。

水深：計画高水位(HWL High Water Level)、余裕高

計画高水位は、河川計画で考慮する最高の水位です。余裕高は、川の大きさでそこから更に0.6mから2.0mです。空堀川のように計画洪水量が200m<sup>3</sup>/s以下は、0.6mです。余裕高は、カーブの部分では遠心力で外側の水位が上がることで、洪水時には波が立つた



単断面・複断面：川の設計上の呼び名で、川底が平らなものが単断面です。複断面は中央部に更に低い部分（低水路）がある形です。空堀川は、現状では単断面ですが、中央部が水流で削られて複断面になっています。水量の変化が多いとそうなります。普段は、低いところだけ水が流れます。

右岸・左岸：右岸は、水の流れる方向に向いて右手です。左手が左岸です

### <川の分類>

**流域・流域面積**：雨がその川に流れ込む範囲を流域と言います。その面積が流域面積です。

**水系**：同じ流域内にある本川・支川・水路・湖・沼を含めて、水系と呼びます。空堀川流域は、荒川水系です。

**本川・支川**：例えば、奈良橋川流域に降った雨は、奈良橋川→空堀川→柳瀬川→新河岸川→荒川（隅田川）をたどって東京湾に流れて行きます。荒川が本川で、その他は支川です。荒川からみて、一次支川が新河岸川で二次支川が柳瀬川になります。空堀川は、三次支川です。

**一級河川・二級河川・準用河川・普通河川**：一級河川は、河川法という法律で決まっています。国土の保全上・国民の救済上重要な河川です。主に、2つ以上の都道府県を流れる川です。基本的に国が管理します。その支川は、国から委託されて都道府県が管理することが多いです。空堀川は、一級河川の荒川の支川なので、東京都が管理しています。二級河川は、公共の利害に重要な川として、都道府県が管理します。千葉県には、二級河川しかありません。準用河川は、それ以外で市町村が管理して河川用の適用を受ける川です。北川は、準用河川です。前川などは、普通河川で河川法の適用を受けず水路扱いです。市町村が管理します。

### <河川構造物>

**開水路、閉水路**：開水路は、水面が大気に触れている川です。大部分の川は、開水路で上流と下流の水位差で水が流れます。閉水路は、トンネルの様に上に天井がある川です。この辺では、玉川上水が残堀川の下をくぐっている所が閉水路です。閉水路の場合は、天井まで水があります。

**堤防**：掘込堤防・盛土堤防、土堤防・コンクリート堤防

堤防は、川の水が堤内地に流れ込まないように設けた堤です。形から掘込と盛土堤防に分けられます。堤防の天端が周りの地表面以下の場合が掘り込み堤防です。盛土堤防は、その逆です。土堤防とコンクリート堤防は、堤防に土かコンクリートかどちらを使うかで分けられます。

**護岸**：練積み護岸、空積み護岸 護岸は、水流から堤防を守るために堤防の表面を覆うものです。練積み護岸は、石やコンクリートブロックの間にコンクリートを打ったものです。練積み護岸でも、水抜きを設けて堤内地の地下水を川に流れるようにします。空積みは、コンクリートを打たずに砕石をいれます。最近は、練積み護岸が多いです。

**調整池（ちょうせいち）、調節池（ちょうせつち）**：調整池・調節池は、洪水の時に川の水をここに流し込んで洪水を防ぐ池です。普通、普段は水がほとんどありません。清瀬市に金山調節池、東大和市に芝中調節池などの大きな調節池があります。芝中調節池は、排水ポンプがあり下流の水位が下がると排水します。

**遊水地**：遊水地は、調節池と機能は同じですが、普段でも水があってビオトープになっているものをいいます。利根川に渡良瀬川が合流する所には広大な渡良瀬遊水地があって、ビオトープになっており、多くの鳥・魚などの生き物が暮らしています。

**放水路**：放水路は、大雨の時に今までの川の水を分けて流す人工の川です。今の荒川は、昭和初期に隅田川から分水して作られた人工の川で、荒川放水路と呼ばれていました。今では、正式に隅田川でなくて、荒川放水路を荒川と呼んでいます。

(6)

## 空堀川の桜

島崎 よう子

空堀川遊歩道に、桜の名所があるのをご存知ですか。

桜便りを一番に届けてくれる河津桜は遊歩道の所々に1本2本とありますが、東大和市境近く中橋上流の河津桜の桃色の並木は、素晴らしいです。(写真は3月10日ごろ)

また、青葉町商店会入口の看板がかかっている下堀橋下流の下堀公苑はソメイヨシノが美しい。毎年、家族連れや友人たち、体力づくりなどの団体、もちろん当会のお花見場所となっています。

今年は例年より早く3月20日過ぎから咲きだしましたのに、新型コロナウイルス感染防止のため例年のようなお花見ができずに本当に残念でした。



東村山の河津桜



今回の新型コロナは、わずか2カ月で南極を除く全世界へ拡大し、何らかの進化を続けた全く新しい未知なる新型ウイルスとか。その背景には自然環境の破壊、人間の無秩序な生態系への進出があり、今、人間は病原体の逆襲を受けているという。自然破壊を減速させ、自然共生社会を構築して野生生物と人間社会のゾーニングを作って行かないといけないという\*話は胸にストンと落ちました。(＊国立環境研究所の五箇公一氏より)

4月25日現在、コロナ収束の見通しは全く見えない状況です。しばらく、三密を避けStayHomeが続きそうです。私たちの生活を見直す時なのかもしれません。10年後20年後の環境を想像してみませんか。

来春、空堀川の桜を心置きなく楽しめるよう、StayHomeがんばりましょう♪

## メダカの飼育日誌

小川 恭子

メダカの飼育を始めてから、2年になります。現在は、白メダカ5匹、黒メダカ6匹を、梅酒のビンで飼育しています。

初めは、すぐに水が濁ってしまいました。喜んで食べていると思い、餌を与えすぎたのです。これに気付くのに2年ほどかかりました。今では、半年以上水を変えていません。バクテリアが水質を整えてくれているようです。

5月に入って、男子メダカが女子メダカを追いかけまわしている様子が見受けられていましたが、どうやら今朝から産卵の始まりです。

このところのコロナウイルス騒ぎで、世界中が自粛し、輸出入がストップしてしまうと、日本の諸々の自給率の低さが問題になってくるようです。コメはまあまあ90%台、野菜は80%台とのこと。しかし、小麦・大豆は10%を切り、肉類も8%!大好きなお肉も高騰していくと、タンパク源としてメダカも食べるようになる?...と変な妄想をしてしまい、メダカも増やす必要があるかと思い始めております。(今年は、餌のやりすぎに注意します!)

コロナウイルスとは、自然の驚異と同じく、人類が正しく恐れ、付き合い方を考えていけたらよいのになと思っています。(早めに正しい情報も必要ですが)

ただ、恐れ過ぎて人心が荒れたり、縮こまりすぎて大きく国の経済が傾くことにならないようにと、願うばかりです。

メダカを食べるような世の中には、なってほしくありません。



去年の6月にできた、ユリノキ広場のカヌービオトープは、皆さんの手入れが素晴らしく、お花も、メダカも元気です。ありがとうございます。



(8)

◎新会員を迎えました。  
どうぞよろしく！  
能勢千穂様（東村山市富士見町）  
田島多枝子様（東村山市美住町）

-----  
これまでの経過と今後の予定  
(2020/3/4~2020/7/11)

- ◎3/4 北北建と小彼岸桜覚書を更新  
(中橋花畑を含む)
- ◎3/14 久米川町ビッグイベント大作戦
- ◎3/16 2019年度第1回理事会
- ◎3/20 第252回(ML-1)  
定例会議事録配布  
(新型コロナのためML利用の  
定例会)
- ◎3/21 高木橋で採取したヨシとフト  
野口橋に移植会
- ◎3/22 御成橋ワンドの調査と  
ワンド周辺にヨシの移植
- ◎3/27 空堀川・川まつりの中止を決定  
4月11日の事前CU中止  
4月18日の第46回CUを中止  
ヤゴ救出作戦中止(南台小学校)
- ◎3/30 空堀川流域広域雨水整備計画  
決定(都市整備局)
- ◎4/ 会計監査
- ◎4/17 中橋花畑に掲示板設置
- ◎4/24 第253回(ML-2)  
定例会議事録配布  
鯉のぼり掲揚中止  
総会の開催方法を模索
- ◎5/7 総会、定例会の開催方法を検討
- ◎5/ 第254回定例会  
(日時、場所は未定)
- ◎5/16 がたろう通信第102号発行
- ◎6/ 春の定例作業日程調整
- ◎6/7 身近な水の一斉調査
- ◎6/13 第255回定例会
- ◎7/11 第256回定例会、  
がたろう通信第103号発行

◎ご寄付を頂きました  
富士見町子どもサロンの活動支援に対し謝礼  
を頂き、9名の会員が、これを当会に寄付して  
くださいました。ご厚意に感謝いたします。

**会 員 募 集**

NPO 法人 空堀川に清流を取り戻す会  
では、会の活動を支援し参加してくださる方を募  
っています。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000円,  
年会費 2000円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000円  
年会費 一口 10000円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000円  
団体・法人会費 10000円

◎ 会費振込先：郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

\*\*\*\*\*

◇空堀川で遊ぶファミリーの皆様へ◇

緊急事態宣言が5月末まで延長されま  
した。楽しみにしていた空堀川川まつり  
は中止になってしまいました。五月晴れ  
の日は河原で思いっきり遊んでくださ  
い。でも十分に距離を取って、密集と密着  
は避けて、喜びの声は心の中で控えめに。



ご逝去のおしらせ

**賛助会員 渡辺盛男様**

病氣療養中のところ2月22日  
に逝去されました。ご冥福をお祈  
りいたします。



# からぼり川

がたろう通信

第 103 号

2020 年 7 月 25 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL/FAX 042-394-9978 東村山市萩山町 2-19-10

## 桑の木は残った！！

友保 邦弘

東村山市内の空堀川に生えていた 300 本以上の木が昨年までに伐採・抜根されました。根を掘り取られて緩んだ地盤が大水で洗堀され、下流域に大量の土石が流されました。(写真)

幸いにも子どもの水辺区間(第二砂川橋～馬頭橋)においては、流木の危険のある木だけ伐採し、その他の木は剪定やヒコバエなどの処理を行い、原則として抜根はしないことに合意しました。

高所作業や発生した枝葉の処理は北北建に対応して頂き、当会では簡易な枝抜きやヒコバエ、ごみの片付けなどを行います。(写真)



## 四季の花々植栽に情熱邁進の能勢千穂さんに寄せて

序 呼称「中橋花壇」の撤去喪失の回避顛末記

岡田 一郎

空堀川に架かる「中橋」(富士見町4丁目)の右岸、下流部の管理道路際の一角に人目を引く花畑があります。季節折々に咲く花々に朝夕河畔を散策する市民が足を止めて花に見入り、心癒される場としても評判です。

富士見町3丁目に居住の能勢千穂様が独りで荒地を開墾し、市販の園芸用土や各種培養土をすき込みながら季節の花の種を蒔き、花木の苗を植えて多彩な四季の花々が咲く丹精込めて作られて来た約120㎡の花壇です。

平成15年秋に私邸の庭に植栽していた「紫陽花」が大株となり、その株分けに管理道路の荒地の一角に2株を移植したことが契機で、今日の目を見張る花壇にまで仕上げられました。5年前からは美住町にお住いの田島多枝子さんが助っ人になりました。

北多摩北部建設事務所(以下、北北建と呼称)が昨年夏に久米川橋から上流部に向けてスタートした管理道路の補修工事に際し、管理道路際に新たな花木植栽を行う計画です。市民が無許可で植栽してきた花木類一切を期限内に撤去する旨の通告案内が随所の植栽地に掲出されました。主として野口橋右岸の下流岸に多く見られた市民の植栽花壇は秋口までに全て撤去された経緯があります。

工事が上流部の中橋周辺に進行した昨秋11月初旬には、前記の通称「中橋右岸の管理道路際の花壇」にも同様の通告が2部掲示されました。当該花壇の撤去喪失を惜しみ、花壇の植栽継続活動を支援するために空堀川を考える会代表の小倉安洋様が発起人となり、関係者にお声掛けされました。当会理事長指名の平田、原田、岡田の3名、花と野鳥研究家の東大和市民代表利田様、そして花壇づくりに勤しむ能勢、田島両婦人等が一堂に会する機会に北北建に対して通告案内の説明会開催を要請しました。

令和元年11月25日の説明会では北北建の植栽草木の種類とその配置や工事日程を質して、能勢様の植栽活動を支援する同志は挙って当該花壇は北北建の植栽計画を凌ぐ多彩で四季の花々が所狭しと咲き誇り、眼前にする多くの市民の心の傷を和らげ癒すことを強調し、現状の花壇のままで植栽継続と維持活動ができるよう北北建に強く請願陳情しました。

12月5日の回答説明会には北北建側は柳瀬川・落合川工事事務所 所長 清水直樹様ほか7名が出席し、市民側は小倉安洋代表、急用不在の友保理事長に代わる岡田、東大和市民代表利田様、そして能勢様が出席しました。北北建は花壇面積の約10%強を独自植栽地としての使用と現花壇の約90%の継続活用を認可しました。またかつて小彼岸桜植樹を機に北北建と当会が結んだ覚書の適用箇所欄に新たに「中橋下流右岸の植栽地」の一部付加した新覚書を交わす前提で、当該花壇の植栽活動継続が認められる回答を得ることができました。

令和2年3月4日付で新たな「空堀川の彼岸桜等の管理に関する(新たに「等」を加えた)覚書」が交わされ、能勢様等の花壇づくりは継続でき、呼称「中橋花壇」は当会が支援していくことも明文化されました。

なお野瀬様と田島様は4月10日付で党会員に加入いただき、能勢様により命名された「中橋花壇」ミニ看板を4月17日に設置しました。

茲に能勢様等が17年の長きにわたり生み育まれた通称「中橋右岸の管理道路際の花壇」が昨暮に撤去喪失されることなく、関係者の支援活動にて呼称「中橋花壇」として存続できるに至った経緯をも記録に残すべく序でに認めました。



《 自慢の花壇の紹介 》



中橋花壇



男の花壇



堆肥施設前の花壇が増えました  
秋海棠と鈴蘭



ユリノキ広場のジャーマンアイリス花壇

## 身近な水環境の全国一斉調査を行いました

平田 健一

全国一斉調査の一環として、空堀川の東村山市内7ヶ所で水質・水量の調査を行いました。

### 調査方法

2020年6月7日(日)10:00~12:30 前日の雷雨から急遽 友保理事長の呼びかけで岡田さん・小池久雄さん・小池一平さんと私の5名で行いました。皆さん、暑い中お疲れさまでした。全域水が流れていたのが大勢で助かりました。調査は、東大和市境の上橋・浄水橋・ふれあい橋・御成橋・野行前橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋と御成橋のJR武蔵野線の湧水です。今回は、時間の関係で野行橋に近い野行前橋は中止しました。pH, COD, NO<sub>2</sub>-N, NH<sub>4</sub>-Nは、例年通りパックテストで行いました。

### 調査結果

6年ぶりに、市内7ヶ所全部水が流れていました。いつも測れている3ヶ所の結果は次のとおりです。

六月初旬に続き、八月・盛夏のなかでの広苑定例作業です。

項目	上橋 下				浄水橋 下				御成橋 下			
	2017	2018	2019	2020	2017	2018	2019	2020	2017	2018	2019	2020
気温(°C)	26.4	28.8	25.2	25.2	27.3	28.8	24.4	27.8	23.3	24.4	23.2	30.6
水温(°C)	24.5	29.8	23.1	24.4	23.9	28.1	23.9	25.3	20.6	20.8	21.5	28.6
pH	9.0	9.5	9.0	8.0	9.5	9.0	9.0	8.0	9.0	8.0	8.5	8.0
EC(μS/cm)	202	1753	1060	434	218	1064	1013	384	388	395	320	269
COD(mg/L)	6.7	5.3	2.0	7.0	5.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0
NO <sub>2</sub> -N(mg/L)	0.05	0.05	0.05	0.1	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.1
NH <sub>4</sub> -N(mg/L)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.31	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
透視度(cm)	88.5	85	90	55	130	88	105	100	107	120	130	112
流速(m/s)	0.42	0.14	0.5	0.3	0.083	0.31	0.33	0.143	0	0.36	0	0.217
流れ幅(m)	2.7	1.2	2.0	3.0	6.0	0.4	2.0	3.0	0	2.5	0	4.0
平均水深(m)	0.09	0.1	0.1	0.1	0.105	0.03	0.05	0.1	0	0.04	0	0.11
流量(m <sup>3</sup> /s)	0.10	0.02	0.10	0.093	0.05	0.004	0.03	0.043	0	0.03	0	0.095

赤字は、前年より悪化 青字は、前年より良化 CODは、3回の平均。

・流量は、前日の雷雨で33mmの雨がなかったので、上橋では昨年とほぼ同じですが、浄水橋から下流も少ないけど水が流れていました。これで、1日当たり約3500t~8000tの流量です

・pHは、相変わらず高いですが、昨年よりは低くて8.0位です。

・ECは、汚染度を示します。昨年より半分以下で、良くなっています。この程度水が流れているとECが下がるようです。

・CODは、上橋のみ7.0と悪くなっています。

・透視度は、上橋のみかなり悪くなっています。上流から泥か何かが流れてきたの  
 かもしれません。

### まとめ

御成橋付近に父子が2組いて、魚とりをしていました。友保理事長がガサガサのや  
 り方を教えたら、一発で一方は3匹一方は2匹のドジョウが取れ、大喜びでした。  
 からぼり広場にも、親子が。

空堀川は普段水がない川ですが、今回は全域水が流れていました。ただ、水深は  
 10cm位です。

「最低、この程度はいつも流れているようにしたいね！」と友保理事長がおっし  
 やっていました。



上橋



浄水橋下流

ふれあい橋 透視度測定 水が流れている！



御成橋の親子 どじょうが取れた！



野行橋 透視度測定。ここにも水が！



大沼田橋 ここにも水が！調査完了！



## 定例作業報告

垂水 荘司

毎年東村山市委託の広苑の草刈り、植木の剪定を春と秋に定例作業としております。

今年は新型コロナ禍の影響で種々の行事が取りやめになっており、果たして我々の定例作業が問題ないのか非常に熟慮しました。実施に至った理由としては東村山市の感染者が少ない事、空堀川周辺の広苑や遊歩道の草木が生い茂り、日頃利用者には非常に鬱陶しい、コロナ禍で自宅待機を余儀なくされている人々にとって、外の空気を満喫出来る遊歩道を、スッキリした場所にして多少でも気分転換になれば良いと思いました。

梅雨入り前の6月9日から、下堀広苑を皮切りに作業を開始した。作業員(9名)はマスクの着用、密にならない様お互い離れて行動するように訓示があり、ラジオ体操を行ない身体も万全の体制でそれぞれの作業に取り掛かりました。作業に使用した道具は刈払い機、トリマー機等です、作業周辺にはコーンポストを立て、草刈り中の注意書を張り、監視員を配置し作業員には通行人の有無を促して安全に注力した作業でした。



6月10日午後1時半に下堀広苑の作業を終え、午後2時からふれあい広苑の作業に移り6月12日午後4時まででした。周辺の家には機械の騒音もあり作業開始の挨拶を行い、玄関前の草刈りも行ってあげた。また他の方にはニシキギを取ってあげたり周辺住民とのコミュニケーションも図っていた。遊歩道は小中学校生の通学があり一般の通行人と共に監視員を配置し安全に配慮を常に図って作業は進められた。



作業前の植木は雑草が除草され、トリマーで樹木本来の形にトリミングされ非常に見ごたえのある遊歩道に甦りました。

作業中多少の雨はありましたが、周辺のトラブル事故もなく無事終了することが出来ました。



## 「新しい生活基準と空堀川での活動基準」を考察

分部 光春

コロナ禍や九州での大洪水、身近では柳瀬川の悲しい事故で、川の関係者として心休まらない毎日ですが、皆様お元気にお過ごしでしょうか？このような大変な中「がたろう通信 103 号」が発行できたこと、関係者の皆様に感謝申し上げます。

新しい生活に、自粛からのイベント再開ですので、しっかりとした活動基準が必要だと思っておりますので、当会でも理事会を開いて基準を決めて頂きたいと思っておりますが、以下私見としてご提案させていただきます。

活動基準ですが、災害時の自助、共助、公助になぞらえて、NPO としてはまず会員の皆様の安全を、そしてイベントに参加して頂く皆様の安全、そして最後に行政との協働をはかり、野外イベントの活動基準の手本にならなくてはなりません。

そこで、色々な行政の基準を精査し以下に書き出しましたのでご参照ください。  
(東京都健康長寿医療センター規範などを引用)

1. まずイベント運営者は参加者が他に代替え（インターネットなど）方法が無い様な魅力あるイベントを運営できるかが大事。また、参加者の強い参加意欲が大事です。

そのうえで、3密を避け、アルコール消毒、マスク、フェースシールド、ゴム手袋などの防疫グッズの使用。イベント中のマスクなど防疫上危険物処理や水難事故防止教育などの危険排除、飲食は禁止、等々の注意。そして感染者が出た場合の使い捨て筆記具で記入した参加者リスト（連絡先明記）の作成。スタッフ間の情報交換も大事

2. 魅力あるイベント開催や参加者の強い参加意欲がありという前提で、事前にスタッフの情報共有の徹底、参加者との基本ルールの徹底を図り、野外イベントの場合は、マスク軍手、ソーシャルデスタンス、ゴミ袋手網などの共用禁止、安全講習の徹底。そして個包装の飲食の提供は十分に行政指導の基準にのっとり行う事は可。万が一に備えて参加者リストの2週間保管そして基準にのっとりイベントとしてのPR（啓蒙活動）のあかしとして積極的にユニフォームを着用した活動。

野外でのCUは②の様な基準で大丈夫と思います。皆さん頑張っていきましょう。

モデルケースですが、ソーシャルデスタンスがちょっと狭いようです。(ユニフォーム♪)

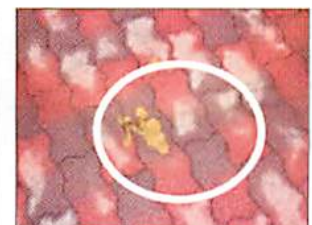


### 困ったゴミのご紹介

危険なゴミ？  
必需品だけど...



やりたてほやほや！  
誰かが被害に！







# からぼり川

がたろう通信

第 104 号

2020 年 10 月 17 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL 090-9209-1784 東村山市萩山町 2-19-10

## 空堀川は花壇がイッパイ！！

会員、会友が手入れをしています

友保 邦弘



## 「富士見町子どもサロン」主催の 「空堀川で川釣り と ガサガサ体験」の支援活動

岡田 一郎

「釣れたあー」、「こっちもハヤが釣れたあー」。馬頭橋の下流部に設営した釣り場周辺にはマスク姿の子供たちの喜びの歓声が。上流部のガサガサ体験では「ドジョウが捕れたあー」、「小さなエビ二匹、なにか動く虫がいるー」の子供の歓喜に応じて網を覗き込む父親の笑顔が、草原から見守る母親たちの声援が、雲一つなく晴れ渡った朝の空堀川に満ち溢れました。

富士見町子どもサロンの「空堀川で川釣り と ガサガサ体験」イベントは遅い梅雨明け日の翌日、早朝から待ちに待った真夏の到来を伺わせる8月2日に開催されました。講師を務める友保理事長ほか計9名の会員がサロン受付等の設営と当会のPRコーナー設置のために8時10分には倉庫前に集合し、それぞれの支援活動の任務を担っていただきました。集合場所のからぼり広場には定刻前に17名の子供たちと16名の保護者が、またサロンおよびボランティア7名が参集しました。

なお、今回の子供サロン参加の定員15名の募集に対し、オンラインによる40名を超える応募者が殺到したことで急遽第1回(7月26日は22名の子供参加)と第2回(8月2日:19名の子供参加)の2回の開催策で応募者に応えることにしたようです。当会も2回の支援受け入れを承諾し、参加できる会員の両日の任務分担を再編成して準備しましたが、生憎と第1回の7月26日は前夜から豪雨による空堀川の流量が多いことで開催が中止された経緯があります。

昨年の「空堀川の自然観察と川遊び」の支援活動がサロン関係者から高く評価されたことを伝聞していました。突然のコロナ禍で長期間の自粛生活を強いられ、自然の中での活動機会が急減している子供たちに「空堀川で魚を釣ってみる体験」をプレゼントする案が子どもサロンの6月幹事会で検討されたそうです。サロンの門脇代表ほか幹事の皆様と友保理事長、岡田がお会いして企画概要を確認して「空堀川での釣り と ガサガサ」の体験支援活動の進行と運営概容等の要領案を7月の空堀川定例会で説明し、支援の会員は両日で18名の申し出があり、それぞれが指定の任務分担役を承諾いただきました。

コロナ禍の真っ只中で子供たちが待望の「空堀川での釣り と ガサガサ体験」をなんら事故もなく実行でき、また暑さを物ともせず初めて経験する「釣り」と「ガサガサ」を短時間ながら興じられたことに参加の保護者からは労いと謝意が述べられました。

諸準備しながら第1回は開催中止の無念さはありませんでしたが、その後に釣り場等会場の変更と理事長主導のリハーサルまで生まれ、例年になく遅い学童の夏季休暇入り2日目、子供サロンの支援活動を計画通りに実現できました。

幼児および学童が保護者と一緒に空堀川の自然観察や川遊びを通して、身近な河川や水辺の環境に親しみ、また広く自然を愛し自然保護や環境保全推進に関心を寄せる市民や地域コミュニティの育成創出に繋がることを期待しております。

参加会員皆様の献身的な支援活動に感謝し、心からご慰労を申し上げます。

改めて記録のために当日の進行と運営概略を記し、さらに末尾には富士見町子どもサロンの主宰者門脇裕子様から終了後にメールにて寄せられ謝辞を追記いたしました。

「富士見町こどもサロン：川釣り&ガサガサ体験」の進行・運営概容等

- 開催日時 令和2年8月2日(日) 9時30分～11時30分  
 ○体験場所 馬頭橋下・右岸周辺 (集合場所：からぼり広場)  
 タイムテーブルと運営概要等

- 9:30～9:35 開会挨拶 富士見町子どもサロン 門脇裕子  
 9:35～9:50 活動支援者挨拶 友保理事長  
 空堀川の概要説明と当会の諸活動など  
 川釣りと釣り竿作りクイズ等の紹介  
 当会員参加者自己紹介  
 9:50～10:00 からぼり広場から釣り場(馬頭橋下・右岸)に移動  
 \*子どもサロンが参加親子をA、B組の2組に分け腕章装着  
 \*移動経路：浄水橋交差点⇒管理道路右岸⇒馬頭橋の手前階段⇒河川に降りる  
 10:00～11:10 「川釣りとガサガサ体験」の実施  
 参加児童を9名、8名に2分けし35分交代  
 \*馬頭橋下会場にブルーシート、小型テント、飲み物をサロンが搬送準備  
 11:10～11:30 カヌーピオトープ花壇前にて記念撮影と参加者の一言体験感想紹介  
 終了解散挨拶

富士見町子どもサロンの門脇裕子様から友保理事長、岡田宛にメールにて寄せられた謝辞は以下の通りです。なお、子どもサロンのHPでは当日の活動報告が写真入りで詳しく紹介されております。(当通信では、p.7に「思い出のアルバム」を掲載しました。)

本日は子どもサロンにご支援いただき、ありがとうございました。暑くなりすぎず、とても良い気候の中での活動になりました。

空堀川の水のほとんどが工場排水だったということをご説明いただき、参加者の何人かがとてもびっくりしていたのが印象的でした。

また、魚が釣れるように工夫してくださったの釣り体験では、意外と釣れた！！という方が多くてびっくりしました。(以前、夫と子供が釣りをしたときには全く釣れませんでした)

網を使っただけのガサガサを取り入れてくださったおかげで、小さな子も飽きずに活動ができたと思います。活動場所についても空堀広場の前の河原では一般の方が多く遊んでいたことから、馬頭橋の下で活動ができて、とても良かったと思いました。橋の下が日影になるのも良かったです。

懸念していたトイレは皆さん汗をかいていたので一人もトイレと言わなかったのが意外でした。少し暑い時期に川遊びをするのであればトイレの心配はあまりないのかもしれないですね。

少し時間がオーバーしてしまいましたが、カヌーの前で記念撮影をさせていただけたことも、とても良かったと思います。

班分けの印に使ったテープの色が薄くて、少し分かりにくいと思いましたので、次回以降班分けをする際には別の方法を検討してみたいと思いました。

他にも私の共有不足がありご迷惑お掛けした部分がありましたが、都度調整をしてくださりありがとうございました。

昨日、本日で朝早くから準備してくださった空堀川に清流を取り戻す会の皆様へ、どうぞよろしく伝えてください。  
 ☆富士見町子どもサロン 代表 門脇 裕子

## 川の話

平田 健一

### 6. 川に関することば(続き)

瀬・淵：瀬は、川の流れの流りが早く、浅いところです。勾配が急な所にできます。淵は、川の流りが遅くて、水深が深いところです。ここに魚がいることが多いです。両方あることによって魚などの生き物が生きていけます。また、蛇行している川と直線状の川では蛇行した川の方が魚が多いという実験結果があります。

ワンド：ワンドは、一部が川とつながった池のようなものです。自然に出来たものは、多摩川、淀川など大きな川にあります。空堀川のワンドは、人工的に作ったものですが、小魚が洪水の時に逃げ込んだり、繁殖する場所になっています。

自然堤防：自然堤防は、川の流りで上流から流れてきた土石などで自然にできた堤防です。最近では少ないですが、柳瀬川と空堀川が合流する地点の上流所沢側に残っています。

河畔林：川に沿ってある林です。これがあると、太陽光を遮って水温を抑えたり、木から落ちた虫を魚が食べる、落ち葉が有機物になって水生生物が棲む、水質浄化するなどで生物が生きやすい場所になります。柳瀬川と空堀川が合流する地点付近にあります。

床固工(とこがため工)：床固工は、川底が水流で侵食されないように木・石・コンクリートで保護するものです。コンクリートブロックで床固めすると、ガタガタになっているところが多いです。

水制：水制は、洪水の時に水が護岸に直接あたって傷まないように設けた構造物です。淀川・富士川などにあります。いろんなタイプがあります。富士川にあるのは、聖牛と呼ばれています。形が牛のようだからです。丸太とじゃかごで作ります。

落差工・魚道：落差工は、川の勾配が急な場合に川の流れを小さな滝のように落としてその上流の勾配を下げ、水の流れをゆっくりにするものです。魚道は、ダム・堰・落差工などで魚が登れない場合に魚が上下できるように作った水路です。

<川づくり>

川の三原則=治水・利水・環境：平成9年の河川法改正により、従来の治水・利水に加えて河川環境が目的とされ、その後、国土交通省から数々の通知や日本河川協会から“多自然川づくりポイントブックⅢ”などのガイドブックが発行されています。

多自然川づくり：多自然川づくりは、できるだけ自然の摂理を生かして自然な状態に近いようにする川づくりのことです。平成9(1997)年の河川法改正以来、多自然川づくりが普及してきています。

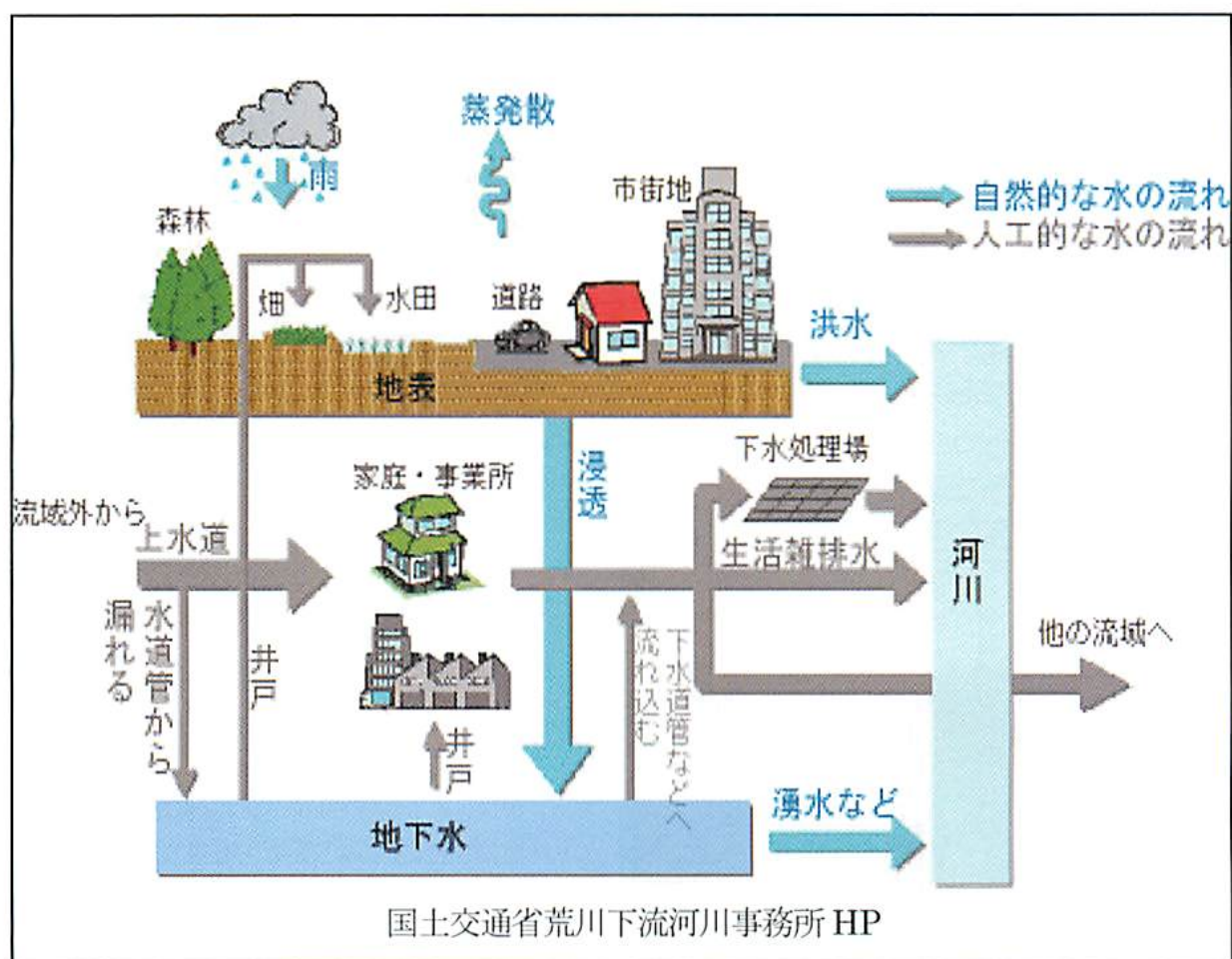
伝統的河川工法：少なくとも武田信玄の河川改修以来使われている河川工法のこと。霞堤、じゃかごなどの木や竹、石を使った河川改修の方法。河川の形の変化に追従でき、生き物のすみかとなるなどで見直されている。

じゃかご：蛇のような格好をした金網の筒に石を詰めたもの。地面の変化に追従し、水の透過性があるので水流を乱しません。平らなものは、ふとんカゴと呼んでいます。昔は、竹で網のようにしていたので蛇籠と呼んでいます

総合治水:総合治水とは、川の問題を川の中だけでなく、流域全体で治水をしようという考え方です。降った水を森林で貯める、ため池・水田で貯める、浸透ます・浸透施設で地下に浸透する、一時的に雨水を貯めて洪水を防ぎ洪水が収まってから放流する調節池・遊水地・グラウンド下の貯留槽・貯留タンクなどにより、川の水量をできるだけ一定に近づけて、治水・環境を両立する考え方です。

<水の循環> 水の循環とは、下図のようなことです。

海や川・湖・地面から蒸発⇒雲になり、雨・雪として降ってくる⇒森林の木にとどまる・土に染み込む・地表面を流れて川へ・地下水が川に湧いてくる⇒川の水となって流れる⇒海へ⇒蒸発↑



以前は、その地域に降った雨が森林・水田・畑・草地に浸透して地下水になり、井戸水として使い、使った水は地下に浸透させていました。現在は、川の上流から取水して水道水になり、使った水は下水処理場に送られて、下流で放流されるようになりました。(広域水道・流域下水道) また、都市化により降った雨が地面に吸い込まれず、ほとんど川に流出するようになりました。

それにより、川の中流域では普段は水がなく、雨が降ると一挙に川の水が増えて洪水になるようになりました。その地域に降った雨は、何にも使われず洪水になっています。水循環のバランスが崩れています。これが普段の水がれ、洪水の多発につながっています。

## 川みてある記

(理想の空堀川を求めて・完結編)

分部 光春

今回の川の見てある記は、あちこち探し歩いた「理想の空堀川」は、チルチル、ミチルの青い鳥だったというお話です。

先日、仲間と一緒に、将来の空堀川のモデルと言われている！奥入瀬溪流の見てある記をしてきました。(駐車スペースが無くて、少ししか歩けませんでした。)

紅葉にはちょっと早い時期でしたが大雨の後でも、増水や氾濫の跡もなく、なんとと言っても水面が道路面と差がなく、まったくの自然という事にビックリでした。同行の友は、まったく氾濫の跡が無いのが不思議とっていました。それは賢明な読者の方はお分かりと思いますが、溪流の周りは森林で覆われ、まるで自然のダムがあるようです。その保水性により、大雨があっても氾濫しないという事の様で、緑の大きな力を実感です。(溪流脇に駐車した観光客の車での被害が心配です。)



奥入瀬溪谷。保水力は○



武蔵野線湧水ゾーンは子供たちの川遊び、トレーニングセンターです

でも、都市河川の空堀川では奥入瀬溪流の様にはいきません。都市河川には住民の安全安心と自然保護を考えて、環境整備をする責務があります。清瀬市中里で起きた子供の悲しい事故も、落差工工事に自然石などを使って溪流風にして深みを作ったことが一因だと言われています。昨今のアウトドア人気で、多くなった新人カワガキや新米ファミリーに河原遊びのルールを教えるのも、行政や学校、そして我々のような環境団体がしなくてははいけません。色々、環境問題や安全対策等さじ加減が大事です。

その現状を探るために川の見学会です。柳瀬川の溪流風落差工現場で安全指導の大事さを知り、淵の森の自然を堪能(ここにもアリアケギバチが)。合流点の安全性を実感。武蔵野線湧水ゾーンの整備と花壇整備もちゃんとして、工事の終わった高木の奈良橋川合流点、粘土張り実験工区の新河川と暗渠化中の旧河川を見学。初めて支流のある事を知った会員も！そして、湧き水の流れる源流に。この湿地の先は荒川水系と多摩川水系の残堀川の分水嶺を勉強した川の見学会でした。

柳瀬川淵の森  
アリアケギバチにビックリ



台風に備えたバケツの貯留槽

空堀川の清流復活問題も、やれ荒川や玉川上水から外水導入だ、いやいや浸透枿の普及や緑地の保全による保水力アップで清流をなんて喧々諤々の様です。でも、近頃は外水導入の予算問題やゲリラ豪雨対策優先の民意により、ちょっと難しくなり、30年をめぐりに浸透枿にとか、湧水条例をとか方向性が変わってきました。浸透枿普及運動や公園条例などによる緑化運動、河床不透水性工事などにより、高度浄化水や武蔵野線湧水などの今ある水の有効活用が、身近に有った空堀川に清流を取り戻すための「青い鳥」だった、という事だと思います。

私の「奥入瀬溪流みたいな保水力アップ大作戦」は、私一人でも、来襲する台風14号に備えて、バケツの貯留槽やメダカ池（小型灌漑用ダム）の水位調整をして、大雨に備えておこうと思っています。これが清流復活の為に、私の出来る「千里の道も一歩から」の現実的活動の始まり始まりです。

10月9日記 身近な活動に「青い鳥」を見つけた分部でした。

「富士見町子どもサロン」思い出のアルバム



カヌー前での記念撮影



ガサガサ体験



釣れた!



馬頭橋下



ボランティアの皆さん

これまでの経過と今後の予定  
(2020/7/6~2021/1/9)

- ◎7/6 ユリノキ広場に  
レッドロビン 13 本植栽
- ◎7/11 第 256 回定例会
- ◎7/18 クリーンアップ  
(会員のみで実施)
- ◎7/22 市の環境審議会  
(原田さん出席)
- ◎7/25 がたろう通信 103 号発行
  
- ◎8/2 富士見町子どもサロンの支援
- ◎8/21 2020 年度第 1 回理事会
- ◎8/31 ゴミ調査結果を北北建へ連絡
- ◎9/4 東京都公園協会に助成金申請
- ◎9/12 第 257 回定例会
  
- ◎10/10 第 258 回定例会
- ◎10/15~ 秋の定例作業
- ◎10/17 がたろう通信 104 号発行
- 11/14 第 259 回定例会
- 11/21 秋の空堀川クリーンアップ
- 11/ 子どもの水辺の樹木管理
- 12/12 第 260 回定例会
- 12/ 子どもの水辺の樹木管理
- 1/9 第 261 回定例会  
がたろう通信 105 号発行



我ら、空堀バスターズ!

コロナ禍でも出動中!

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円  
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円  
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円  
団体・法人年会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL : 090-9209-1784

\*\*\*\*\*

野火止の水にこぼして水引草  
赤とんぼ優しき人の手に止まる  
蜻蛉の連なり水を掠めゆく  
爽やかを孕みウィンドブレーカー  
銀杏黄葉はや二代目の顔となり  
群れて揺れて一日楽しき猫じやらし  
大樺さやげる音も秋の声  
日当れば草の香ほのと立ちにけり  
秋晴や球音乾きつづけさま

あやとり句会

喜和 ひとみ 紀子 澄 案山子 雑木林 真 緑 与志



がたろう通信

第 105 号

2021年1月23日

発行

# からぼり川

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者: 友保邦弘 TEL 090-9209-1784 東村山市萩山町 2-19-10

## 新年あけましておめでとうございます。

友保 邦弘

2015年に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は新型コロナウイルスの蔓延によって大きな打撃を受けたと落胆する必要は全くありません。むしろ「地球上の誰一人取り残さない」という目標達成のための大きなヒントを提供してくれているのです。

私は23年間庭師をやっています。最近の若者世帯では庭木を伐採し、草は除草剤、虫は殺してくれという家が少なくありません。実に嘆かわしい風潮です。身近な環境に目を向ければ川に水はいらない、洪水さえ無ければ安心、川の木は水流の邪魔で水害の原因だから切れ・・・と言って譲らぬ人もいます。川は「緑の回廊」といわれるように、生物多様性を担保する重要な自然環境です。

そこで「空堀川子どもの水辺の樹木管理」の話です。馬頭橋から第二砂川橋の約700mの河道内に180本ほどの樹木があります。当会がボランティアでこれらの樹木を水流を阻害しないように定期的に剪定などの管理を行うことになり、去る12月19日に第一回の作業を行いました。トウネズミモチの作業前と作業後の写真です。



水流の妨げになるトウネズミモチ



ヒコバエや株数を整理し、下枝を除去

## 秋のクリーンアップを通して ウイズ・コロナ時代の活動を考える

岡田 一郎

収束することなく長期化するコロナ禍の中で実施しました恒例の秋のクリーンアップは通算47回を数えるイベントですが、参加者を募ることなく都合のつく会員のみの活動として11月21日（土）に行いました。



例年4月実施予定の春のクリーンアップをコロナ禍の活動自粛で延期し、漸く7月に実施した活動は、市報の掲載や参加者募集のポスター掲示などを中止し、市民や森永乳業関係者に声掛けすることなく初めて会員のみで活動した経緯があります。

今後もコロナ禍の長期化が予想されるウイズ・コロナ時代にあって、2回実施した会員のみによる制約された美化活動を通しての評価が、以後の極小参加者に抛る新たなク

リーンアップ実施策の策定や活動の改革等にも生かされることを願っております。多くの興行イベント等が無観客や参加者数を制限して行われている事例からも必須の検討課題の一つです。

上流部の今夏7月のクリーンアップは会員4名のみ参加で実施しましたが、今回はその後に体調回復されたM会員を含む会員6名の活動で、当初の目的を果たすことができました。

事前に第二会場（下流部）の会員参加者が少ないことが明らかでしたので、第一会場の活動区間を上橋～丸山橋間（久米川橋～丸山橋を追加）とし、Iグループ（A、K、H会員）3名は上流部の第二砂川橋～久米川橋間とさらに下流部の久米川橋～丸山橋までを担当し、IIグループ（女性のO会員、M会員、岡田）3名が上流部の第二砂川橋～上橋間の担当と決め、収集ゴミ等は分別することなく美住町トイレ前に集荷することを確認しました。活動後半には下流部の支援活動にM会員が加わることをお願いしました。

なお前日にはK会員が上橋～浄水橋の左岸を、H会員は当日一斉活動前に浄水橋～野口橋間のゴミ収集を済ましてしていただけに上流部は時間内に活動を終わることができました。

丸山橋左岸詰めに集積したゴミはW会員支援の車で美住町トイレ前に搬送いただき、最終的にトイレ前に収集された袋詰めゴミ等は近隣住民の理解を得るために、翌日11月22日に業者に依り全て回収される旨の簡易掲示をしました。

第二会場は会員6名の参加で丸山橋～大沼田橋を担当し、丸山橋から右岸3名、左岸3名で下流に向けて活動を行い、細かいゴミまで収集したことでゴミ量が増えましたが、急遽W会員の軽トラックの支援を得て予定通り下堀橋際に全て集荷できました。

当日開催されていた「空堀川を歩く会」の団体参加者からは多くの激励が寄せられ、特に女性参加者からは収集のゴミを見て悲嘆の声が上がっていました。かつて美住町トイレ裏は「ゴミの捨て場」で、その是正対応策に苦慮してきましたが、周辺に季節の花々が咲く花壇造成とプランター鉢が役立って、この2年間で捨てられるゴミが皆無になりました。



我われの活動がさらに市民のゴミ問題の関心高揚と美化促進気運が高まることを期待しております。20年余にわたり地道に続けてきたクリーンアップ活動を評価する上でも、「美しい町に、美しい心」(仮称スローガン)が東村山市のミッションにまで高められる「市民美化活動」に進展されていく新たな「仕組みづくり」の実現は、清流実現と並行して当会が取り組む優先課題であると強く認識いたします。



今回の活動実績は下記の通りです。

	参加人数	ゴミ量	粗大ゴミ他	区間
第一会場	6名	19袋	マットレス、ソファ、布団、傘ほか	上橋～丸山橋
第二会場	6名	17袋	マットレス、炊飯器、植木鉢ほか	丸山橋～大沼田橋
合計	12名	36袋	自転車は皆無でした	

\*ゴミ袋は700入り

## 第4回東村山市環境フェアに参加しました

平田 健一

2020年11月18日(水)～21日(土)に開かれた東村山市環境住宅課 主催の環境フェアに参加しました。市民団体は、当会・北川かっぱの会・東村山エナジーとガイガー東村山&ガイウェイ東村山です。その他に、東京ガス(株)、ごみ減量推進課、秋水園整備推進課、下水道課、みどりと公園課でした。当会会員が交代で説明しました。お疲れ様でした。

空堀川の水枯れの現状と原因・対策、当会の活動、水質調査と放射線量の測定結果のA1のパネル6枚、空堀川の魚(オイカワ・モツゴ・メダカ、ドジョウ・エビ)、関係する本・表彰状等を展示し、川あそびの楽しさを伝えられるようにしました。パネルは、内容をアップデートし作り直しました。空堀川の魚の展示には、今年も「本当に空堀川の魚ですか?」と聞かれました。今回も細瀬建材さんのご協力により、浸透マスの現物を展示しました。すぐ左に下水道課の浸透施設・貯留施設のパネルと助成金のパンフレット、その横にはみどりと公園課の生け垣の助成金のパンフレットです。

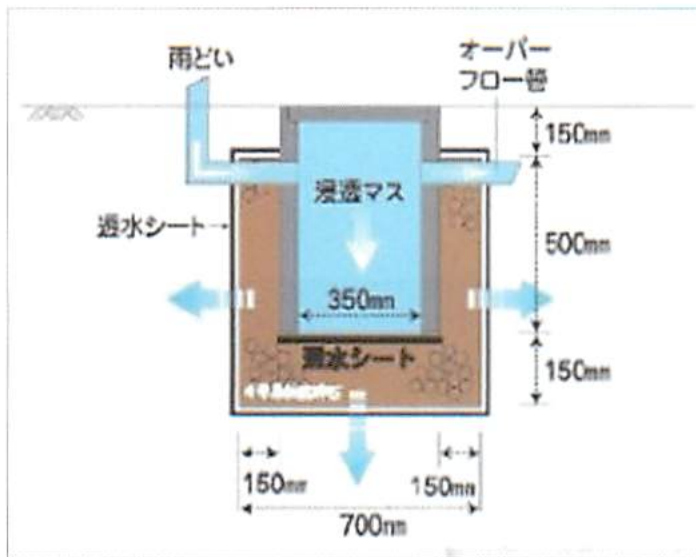


当会の展示全景



空堀川の魚たち♪

この下にあるのが浸透マス!



浸透マスは左のような構造で、浸透マスの周りに砕石を入れ、その外側を透水シートで巻きます。来られた方は、「意外と小さいんですね。」とおっしゃっておられました。これが、洪水対策と平常時の流量確保に役立ちます。降った雨を地下に浸透させて地下水にして、ゆっくり川に出てくる様にします。

右の空堀川の絵は、多摩六都科学館の2年前の川の企画展で当時多摩美術大学の学生さんに描いていただいたものをパネルにしたものです。実物は高さが3m位ある大作です。空堀川の楽しさを表現できていると思います。空堀川を見に来られたのが2月だったので、桜が咲いたときの写真をお渡しして描いていただきました。浄水橋から上流を見たイメージです。右側が東村山浄水場、左が新青梅街道です。川の中には、オイカワとモツゴがいます。

今回は、新型コロナ対策でイベントは中止、土曜日も午後3時までだったので、来場者が大幅に減りました。

前は6日間で521名の方でしたが、今回は4日間で139名でした。(第2回は、303名。1回目は、372名。)

来年は、やはり火曜日～日曜日にしていただきたいと思います。今年も、日程が秋の空堀川クリーンアップと重なってしまいました。他の行事との関係があるので、変更は難しいそうです。

できるだけ多くの方に来ていただけるように、空堀川の楽しさを伝えられるようにしたいと考えています。

ご協力いただいた方、おいでになった皆さん、ありがとうございました。



(6)

## 小魚の救出

作戦日：2020/11/28

原田 秀二

十月の初旬、中旬に数日雨が降り、それ以後今日 12/18 まで降雨らしい雨は降っていない。

結果、久米川橋から下流域はプール状の溜り水以外は干上がってしまった。

11/21 の空堀川クリーンアップで、分部氏が六中前の落差工の下に出来ている大きな溜りに小魚が群れており、シラサギ、コサギの餌食になっているのを救出出来ないかと話が出た。

一方、シラサギたちもこれらのエサが無ければ飢えていく事になるなど、川に依存して生きる生き物の話になったが、全て捕獲できるわけではないし、移動先の御成橋ワンドでも大量の魚は川に逃げ出し生きていけるのだろうか？など心配である。

ともかく六中前の溜りはだんだん水量が減り、小魚の密状態になっているので、これを解消する意味もありバケツ、ビニール袋に入れてお引越させようと話が決まった。



子供たちだけでは危険だし、不潔なので早く家へ帰るよう言い聞かせる。捕獲したオイカワ稚魚、ドジョウ、ザリガニなどビニール袋に入れ御成橋へ移動する。

11/28 の昼過ぎ、六中前の溜りに関岡、原田、分部の三名が集合。この溜りには早くも小学 4 年の子供たち 4 名が水に入り遊んでいる。気温は 20 度越え、前日は夏日の所があり寒くはない。たも網を入れると 3~4 cm のオイカワの稚魚が沢山取れるが、子供たちは腰まで溜りに入りかき回すのでヘドロが舞い上がり悪臭が酷い。子供たちはアカミミガメも捕らえたが逃がしてやったとの事。



ワンドはクレソンが繁茂して魚の隠れる場所もありそうだ。ビニール袋から放された稚魚は約400～500匹位いただろうか。

しばらくするとメダカの学校よろしく、群れになり泳いでいた。

この様な過酷な状況で遅しく生きていく魚たちが、いとおしくも有り、早く大きく育つ水辺の環境が整備されることを願わざるにはられない。



ワンドのクレソン入りサラダ♪

## 空堀川の鳥たち

2021. 1. 7 原田会員撮影



カワウ



カワセミ



コサギとカモ



チュウサギ



セグロセキレイ



ドバト



ヒヨドリ



カルガモ



ムクドリ

空堀川では、ほかにも沢山の種類の鳥たちが観察できます

これまでの経過と今後の予定  
(2020/9/28~2021/4/18)

- ◎9/28 河道内の草刈り手直し (立川造園と協議)
- ◎10/1 高橋成徳さん、奥住薫さん入会
- ◎10/5 ユリノキ倉庫の自転車4台、北北建にて処理
- ◎10/8 美友自治会 (美住町) 掲示板に会報102号掲示
- ◎10/10 第258 回定例会
- ◎10/13 ふれあい広苑堆肥置き場の整備
- ◎10/14 下堀広苑堆肥置き場の整備
- ◎10/17 がたろう通信 104号発行
- ◎10/20~ 下堀広苑定例作業
- ◎10/26~ ふれあい広苑定例作業
- ◎11/2 下堀広苑の東京都管理範囲の確認  
下堀公苑をみどりと公園課範囲に追加
- ◎11/14 第259 回定例会
- ◎11/18~ 環境フェア
- ◎11/21 第47 回秋の空堀川クリーンアップ (会員のみ)
- ◎11/26 三仲ベンチの灰皿警告ビラを掲示  
上記ベンチに携帯用灰皿を6個提供
- ◎11/28 小魚の救出作戦
- ◎12/2 9 期第10 回流域連絡会 (書面開催)
- ◎12/12 第260 回定例会  
(メール及び書面開催)
- ◎12/19 子どもの水辺の樹木管理 (EF 区域)
- ◎12/20 御成橋ワンドの整備 (まちかど運動)
- ◎12/27 川の清掃と避難所訓練  
(まちかど運動と協働)
- ◎1/9 第261 回定例会 (メール及び書面開催)
- ◎1/23 がたろう通信 105 号発行
- 2/13 第262 定例会
- 2/ 子ども水辺の樹木管理 (EF 区域)
- 3/13 第263 回定例会
- 3/ 子ども水辺の樹木管理 (AB 区域)
- 4/10 第264 回定例会  
がたろう通信 106 号発行
- 4/18 第48 回春の空堀川クリーンアップ
- 4/ 子ども水辺の樹木管理 (CD 区域)

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加してくださる方を募っています。 NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円  
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円  
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円  
団体・法人年会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL : 090-9209-1784

\*\*\*\*\*

良き事がありそな予感雪の富士  
 煤払ふ世の疫病も払はむと  
 涸川の地下水脈の聞こえきし  
 リズム良く撒けば喜ぶ寒ごやし  
 冬茜墨染の富士遠く据ゑ  
 冬天や雲と見紛ふ白き峰  
 朴落葉石のごとくに草の上  
 葱青し雲の中より薄日射す  
 堰の水白く残して日のつまる

あやとり句会

喜和 与志 ひとみ 紀子 澄 索山子 雑木林 真 緑



# からぼり川

がたろう通信

第 106 号

2021年5月25日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 友保邦弘 TEL 090-9209-1784 東村山市萩山町 2-19-10

ホームページ



ブログ



医療従事者の皆様ありがとうございます！  
こどもたちもガンバろう！



## コロナ禍が長期化する環境下で、 会員のみによるクリーンアップ実施

岡田 一郎

4月17日実施予定の通算48回を数える春のクリーンアップは降雨で翌18日に延期し、コロナ禍真っ只中であり、会員のみによる昨夏以来連続3度目の活動となりました。

既に2月13日のメール伝達による書面開催の定例会で、コロナ感染者数が高止まりしている折の春のクリーンアップは前回同様に会員のみで行うことの事前決定の案内を済ませていました。昨春4月7日にわが国で初めて新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発出されたことで、4月の46回クリーンアップは7月に延期し、かつ初の会員のみでの活動を、続く秋の47回クリーンアップも収束の兆しが全く見られないコロナ災厄により、同様に会員だけで活動した経緯があります。昨春4月予定のクリーンアップがコロナ禍で延期し、実施当日の7月18日は生憎の降雨を押しての、かつ上流部（第一会場）は会員4名、下流部（第二会場）は会員6名参加で、続く11月は上流部6名、下流部6名の会員参加の活動に比べると、この春48回の活動は好天に恵まれた上、参加した会員はそれぞれ上流部10名、下流部9名の会員参加数では記録を樹立する活動となりました。当分は極少数者での活動展開が続くことが予想される、いわゆる「withコロナ」時代での会員のみでの自律・自立的活動の好事例を創出するために今後も参加会員の極大化を図ることが必須です。



会員のみによる47回活動から担当エリアを新たにした第二会場の一部（久米川橋～丸山橋間）支援には今回も原田さんをチーフに小池（一）さん、小池（久）さん、宮崎さんの4人が担当し、当日活動を円滑に行うために前日に小池（久）さんが自発的に上橋から浄水橋右岸の事前収集活動をされました。

昨春に入会された能勢さんが初参加され、朝礼にて参加会員の自己紹介を行い、続く原田さん主導のウォーミングアップ運動を経て、会員6名は2組に分けてそれぞれの担当持ち場に到着いただき、美住町トイレ前の集積所には12時までに戻ることを確認しました。

北部建設事務所による集積ゴミの回収は翌日になることから、上流、下流のゴミ集積2ヶ所の周辺市民にその旨の理解を得るため別途「回収が翌日になる」ことの掲出をしました。当日の収集ゴミ量は上流部で14袋（90L袋）、下流部で1袋（100L）、22袋（70L）、25袋（ボランティア袋20L）でした。両会場ともに事故や負傷もなく当初の目的を果たすことができました。

なお、直近の「クリーンアップ参加者の分析」表（第45回から第40回に遡る逆年代順に記載した実績）を末尾に付記してみました。特に一般市民や行政担当者の参加実態等を分析して、クリーンアップ活動の先に見える全市民参加の美しい町づくりを目指したいものです。当会が20年余に亘って継続活動してきた空堀川の美化活動の意義が広く市民に理解浸透されて、真の市民参加型の広域美化活動に拡充進展して行くことを切に願っております。

時あたかも巷間ではSDGs（持続可能な開発目標）の施策課題を本格推進すべき時代到来が警鐘されております。

### 空堀川クリーンアップ 直近開催回（第45回～40回）の参加者実態

第45回 令和元年11月16日（土）				第44回 平成31年4月20日（土）				第43回 平成30年11月17日（土）			
	第一	第二	計		第一	第二	計		第一	第二	計
市民（子供）	7(2)	15(8)	22(10)	市民（子供）	10	5	15	市民（子供）	9(1)	9	18
森木	18	28	46	森木	23	34	57	森木	21	21	42
行政	0	3	3	行政	1	3	4	行政	・	・	0
当会員	8	9	17	当会員	8	9	17	当会員	9	10	18
合計	33	55	88(12)	合計	42	51	93	合計	39	40	79

（注）第一会場：上橋～久米川橋、第二会場：久米川橋～なかよし橋～大沼田橋 なお久米川橋～なかよし橋間は事前に実施予定  
行政：北多摩北部建設事務所職員

第42回 平成30年4月21日（土）				第41回 平成29年11月18日（土）				第40回 平成29年4月15日（土）			
	第一	第二	計		第一	第二	計		第一	第二	計
市民（子供）	15(6)	19	34	市民（子供）	2(1)	8	10(1)	市民（子供）	22(6)	9(1)	31(7)
森木	21	24	45	森木	0	1	1	森木	26(1)	33(4)	59(5)
行政	・	3	3	行政	・	・	0	行政	・	3	3
当会員	9	9	18	当会員	7	7	14	当会員	9	10	19
合計	43	55	98	合計	9	16	25(1)	合計	57(7)	55(5)	112(12)

午前中雨天予報で会員のみによる午後実施としたが  
午前が曇天予報変わり、急遽午前に変更して実施

40回記念関係：記念品配布

## 《 新しい会員紹介 》

清流を取り戻す会に入会して

高橋 成徳

仕事の帰りに空堀川を通ったとき、沿線の生け垣の刈込作業を行う一団の中に小池さんの姿を見つけ懐かしさもあり、世間話をした。ネットで会のことを調べると、20年前から活動していることを知った。

今の自分にできることはと思ったときに、シルバーで植木の仕事をしているのでこれだと思った。自分の健康のため、川の綺麗な流れ、綺麗にすれば綺麗を呼ぶ、その手助けが出来ればと思い決意しました。

(4)

## 鯉のぼりの掲揚

垂水 荘司

風薫る5月、こどもの日に備えて4月28日に、空堀川からぼり広場に鯉のぼりを掲揚した。



コロナ禍で首都圏で自粛の最中この様な行事が果たして良いのかどうか賛否両論ですが？広場に約105匹の鯉達が悠々と泳いでいる様は、まさしく人々の気持ちを和ませてくれています。ゴールデンウィークのこの時期に鯉のぼりの下でくつろいでいる家族、川の周囲を散歩している人々、密の状態ではない散策の仕方は鯉のぼりのある川の風景とマッチしている様に思います。

例年でもこの時期は子どもの日に合わせて、4月末から5月7日にかけて鯉のぼりを掲げておりましたが、昨年は自粛期間中中止しました。矢張り気の抜けたこどもの日でした。今年は鯉のぼりの掲揚と共に、コロナ禍で毎日大変苦勞されている医療従事者、又外で自由に遊ぶことが出来ない子どもたちへのスローガン（エール）をフェンスに掲げお礼と、励ましを表現しました。

全国的にコロナの感染増大が報じられており、決して油断は禁物です。ワクチンの接種、医師の確保に悩む自治体。生活費、学費に悩む人々が33%にも及ぶ大変な暗い世相ですが、5月7日までせめて多少でも、大空に舞う鯉のぼりが皆様の気分転換になれば幸いです。東村山市でも感染者が680名を超えております。

絶対にコロナに罹ってはいけません、完治したとしても後遺症に悩む人が多いと言われております、我々も皆様と共にコロナにはくれぐれも気をつけましょう。

最後にお願いですが鯉のぼりの鯉たちも、泳ぎ疲れて痛んでおります、過去も皆様方より寄贈頂き現状を維持しておりますが、これからもどうぞ寄贈宜しくお願い致します。

## ♡ 空堀川のフェンスにエールを！ ♡

原田 秀二

三月初めに理事会が開催され、今年度の事業計画、予算案、総会の進行について、役員改選などが話しあわれました。

その中で、今年も「川まつり」は中止の方向である。と報告されました。残念であるが新型コロナの現状を見ると止むを得ない、と受け止めましたが鯉のぼり掲揚は見る方々に元気を与える事になるのではないかと発言があり皆さんの賛同を得ました。

話をする中で、メディアでは医療崩壊の懸念の話や医師・看護師、医療関係者の肉体的、精神的負担が極限に達しているのでは？と心配の声もありました。

そうした中で、鯉のぼりを掲げる時に川のフェンスに沿って医療従事者へ応援メッセージを出してみたら如何だろうか、の声があり「それいいねえ。」と言う事で文言・文字をHi 理事がアウトプット、それをOk 副理事長がA3判でラミネートする事となりました。

また、テスト用にHa 理事がA4判で「医療関係者」向けと「子どもたち」向けの二種類を作成し、四月上旬から取り付けてみました。

評判はそれなりに好意的に受け止められているようで、お散歩の方からも「良い事ですね」など声を掛けられました。



## 追想の“さいかち窪”

高橋 衛

「黒目川は都立小平霊園内の“さいかち窪”を源流とする」

すべては、原田氏の一通のメールがはじまりだった。

“サイカチ”という耳慣れない言葉に早速辞書を引くと皂莢(さいかち)＝マメ科の落葉高木。山野・河原に自生。茎、枝に多数のとげがあり、夏に緑黄色の細かい花を開く。かつて果実は洗濯洗剤としても代用されたとのこと。なるほど、皂莢の群生が由来か。と想像していたら、さらに原田氏が少年時代を過ごした武蔵小金井では、カブト虫をサイカチと呼んでいた。カブト虫が多く成育したことに由来するだろうと。これにより「さいかちの木」派と「サイカチ虫」派が川の会を二分する由来論争に発展することになった。

そこで論争に終止符を打つべく、両派からなる合同探索隊が結成されることになり、「木派」は平田氏と私。「虫派」は原田氏。「中立派」から関岡氏が参集。2月初旬にしては、汗ばむぐらいの快晴の下、急遽駆け付けた友保理事長より万病に効くというお手製の“ウマブドウ焼酎”をはなむけに一本づつ贈られ、いよいよ探索が始まった。

お目当ての場所は新青梅街道に面した霊園北口を入ったすぐ右手。周囲の墓地より数メートル下がった低地。コナラやクヌギの雑木林に囲まれたこの窪地が過去には湧水もあり、黒目川の源流地とされた場所か。今は完全に干上がってその面影はない。わずかに二カ所に設けられた石橋で往事が偲ばれるだけだった。窪地を少し登ると南側と東側の二カ所に霊園内の雨水を窪地に流しこむためか、鉄格子のはまった管がある。また、北側にはさいかち窪から新青梅街道を潜って黒目川の始点に流し込むためとおぼしき排水口があった。



さて、肝心の皂莢の木はあったのか。残念ながら入念な探索にも関わらず発見することはできなかった。それとおぼしきものを3本ほどみとめたのだが…  
発見の榮譽は夏以降の第二次探索隊に託したい。

ちなみに、東久留米市教育委員会刊行の「東久留米市文化財資料・地名篇」によると「さいかち窪は皂莢の木の群生に由来する」とされています。

公式見解はどうであろうと、多様性を大事にする我が「空堀川に清流を取り戻す会」では、当然ながら“諸説あり”で論争の幕を閉じたことを申し添えておきます

## 春のクリーンアップで出会った河原の花たち

写真提供: 原田



シロバナタンポポ



アブラナ科



オオアマナ



オオカワジシャ(特定外来種)



オランダガラシ(クレソン)



オオイヌノフグリ



オキザリス



ナガミヒナゲシ



ハナニラ



カキドウシ



シロツメグサ



クサフジ



ヤグルマソウ



ツバメシジミ



ベニシジミ

## 《 定期総会のお知らせ 》

友保 邦弘

2020年度(第22回)定期総会はコロナ禍に伴う緊急事態宣言の延長を考慮して「書面総会」とさせていただきました。結果については次号でお知らせいたします。

これまでの経過と今後の予定  
(2021/2/11~2021/7/10)

- ◎2/11 黒目川源流 さいかち窪探索
- ◎2/13 第 262 回定例会 (書面開催)
- ◎2/15 新河岸川流域川づくり連絡会  
Zoom会議
- ◎2/20 第 2 回子どもの水辺の樹木剪定作業
- ◎2/22 子どもの水辺堆肥置き場の整理
- ◎3/2 2020 年度第 2 回理事会
- ◎3/13 第 263 回定例会 (書面開催)
- ◎3/20 第 3 回子どもの水辺の樹木剪定作業
- ◎3/27 第 4 回子どもの水辺の樹木剪定作業
- ◎3/30 みどりと公園課へ今年度見積提出  
環境審議会委員交代報告(原田→友保)
- ◎4/3 第 5 回子どもの水辺の樹木剪定作業
- ◎4/10 第 264 回定例会
- ◎4/17 北北建より  
丸山橋にライブカメラ設置の連絡
- ◎4/18 第 48 回春の空堀川クリーンアップ  
(会員及び青葉小のK先生参加)
- ◎4/20 北北建へ丸山橋の不審な穴の調査依頼
- ◎4/22 公園協会の助成申請受付書を  
北北建に提出
- ◎4/24 第 6 回子どもの水辺の樹木剪定作業
- ◎4/26 2021 年度 (令和 3 年度)  
第 1 回理事会開催
- ◎4/28 鯉のぼり、コロナ激励ポスター掲揚
- ◎5/7 鯉のぼり撤収、 会計監査
- ◎5/15 2020 年度第 22 回定期総会(書面総会)
- ◎5/25 がたろう通信第 106 号発行
- 5/ 第 7 回子どもの水辺の樹木剪定作業
- 6/ 下堀・ふれあい広苑定例作業

ご逝去のお知らせ

正会員 土橋雄次様

病氣療養中のところ、3月16日に逝去されました(享年84歳)長年にわたるご活躍に感謝し、心よりご冥福をお祈りいたします。

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円  
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円  
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円  
団体・法人年会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市萩山町 2-19-10

友保 (ともやす)

TEL : 090-9209-1784

\*\*\*\*\*

重き鉄ゆるりと掬ひ畦を塗る	武者人形肩剥がれても奮ひ立つ	一步づつ海に近づく茶摘みかな	道草の子らを急きたて夕蛙	風にのり風に逆らひ蝶二匹	夏近し整然とせる苗の穴	藤棚の下に伸びるや自撮り棒	カメラ手に金蘭の地を道選す
---------------	----------------	----------------	--------------	--------------	-------------	---------------	---------------

あやとり句会

喜和	緑	ひとみ	紀子	澄	紫山子	雑木林	真
----	---	-----	----	---	-----	-----	---



# からぼり川

がたろう通信

第 107 号

2021年8月17日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



## 新理事長就任に当たって

垂水 荘司



垂水 荘司 新理事長

2021年5月 定期総会（書面）と、7月5日の理事会をもって新理事長に就任しました、垂水です。2005年（平成17年）当会に入会し16年目を迎えました。初代理事長の小林寛治様が1997年に設立された会を、2000年（平成12年）に特定非営利法人として登記を完了して21年目になります。設立の理念は、市民団体が自立し法人格を取得し、清流の確保、環境保全、街興しを行政との協働で実現する事でした。2009年（平成21年）6月から小林理事長の意志を継ぎ2代目に友保邦弘様が12年間この会を育ててきました。2人の先輩理事長には一方ならぬご指導を頂き、会員一同感謝の念に堪えません。特に友保様には体力の低下等で、3年前より引退を示唆されておりました。両先輩理事長にはNPO運営に対する崇高な理念や信念を基に、豊富な知識と行動力、行政や他団体との交渉力を兼ね備えた方々です。その能力知識等は誰れでも有しているわけではありません。今回退任されるに当たり次期理事長の引き受け手が無く、空堀川に清流が流れないまま解散の危機を迎えました。会員の皆さま方と協議を重ね、先輩理事長のような能力、人望等何もない、只、長年会員であるとの事で私に白羽の矢が立ちました。少し時間を頂き熟慮の末大役を引き受ける事に致しました。

3代目として先輩理事のように企画力、行動力、交渉力等に長けた方々とは足元にも及ば無いことを承知の上で、会員の皆様方と総合力を基に、この会が空堀川と周辺地域の皆さま方に少しでも貢献出来ればと想っております。又この会が大切なのは会員の年齢は高いのですが多少身体を動かし、自宅にいるより草刈り、樹木の剪定、空堀川のクリーンアップ等に参加されて会員同士のコミュニケーションが溢れる事も大切な事ですね。会員の若返りも大切な事ですが、まずは現在の会員の皆さまと健康を第一に「焦らず、怠らず」をモットーに日々が楽しめるように皆さまのご支援とご協力をお願いします。私の好きな言葉は「和」です、就任の弁で取り止めのない言葉で大変申し訳ございません「引く」のは簡単ですが数年頑張ってみます。

# 身近な水環境の全国一斉調査を行いました

平田 健一

全国一斉調査の一環として、空堀川の東村山市内 6 ヶ所で水質・水量の調査を行いました

## 調査方法

2021年6月6日(日) 9:00~11:10 2日前に所沢で17mmの雨が降り、当日も小雨の予報でしたが、翌日に定例作業を控えていることもあり時間を早めて実施しました。島崎さん・垂水さん・岡田さん・長谷川さん・高橋衛さんと私の6名で行いました。皆さん、お疲れさまでした。人数が多かったため、後半は小雨でしたがスムーズにできました。調査は、東大和市境の上橋・浄水橋・ふれあい橋・御成橋・野行橋・清瀬市境の大沼田橋間約6kmと御成橋のJR武蔵野線の湧水です。今回から、野行橋に近い野行前橋は中止しました。pH、COD、NO<sub>2</sub>-N、NH<sub>4</sub>-Nは、例年通りパックテストで行いました。

## 調査結果

市内6ヶ所の内3ヶ所に水がありました。いつも測れている3ヶ所の結果の比較は次のとおりです。

項目	上橋 下				浄水橋 下				御成橋 下			
	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021	2018	2019	2020	2021
気温(°C)	28.8	25.2	25.2	23.6	28.8	24.4	27.8	22.1	24.4	23.2	30.6	24.2
水温(°C)	29.8	23.1	24.4	23.8	28.1	23.9	25.3	22.5	20.8	21.5	28.6	19.6
pH	9.5	9.0	8.0	8.5	9.0	9.0	8.0	9.0	8.0	8.5	8.0	8.0
EC(μS/cm)	1753	1060	434	1507	1064	1013	384	1390	395	320	269	353
COD(mg/L)	5.3	2.0	7.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0
NO <sub>2</sub> -N(mg/L)	0.005	0.005	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.05	0.05	0.10	0.005
NH <sub>4</sub> -N(mg/L)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
透視度(cm)	85	90	55	108	88	105	100	125	120	130	112	130
流速(m/s)	0.14	0.5	0.3	0.39	0.31	0.33	0.143	0.21	0.36	0	0.22	0
流れ幅(m)	1.2	2.0	3.0	5.1	0.4	2.0	3.0	4.8	2.5	0	4.0	7.3
平均水深(m)	0.1	0.1	0.1	0.28	0.03	0.05	0.1	0.13	0.04	0	0.11	0.1
流量(m <sup>3</sup> /s)	0.02	0.10	0.093	0.56	0.004	0.03	0.043	0.13	0.03	0	0.095	0

赤字は、前年より悪化 青字は、前年より良化 CODは、3回の平均。

・流量は、2日前の雨でもう少し下流まで水が流れているかと期待したのですが、上橋・浄水橋までは水がありましたが、その下流は水がありません。御成橋は、JR武蔵野線の湧水が出ているのでその辺りには水たまりがありましたが、下流の達磨坂橋の手前で河床に沁みこんで無くなってしまいます。

・pHは、相変わらず高いです。去年は、少し低かったのですが、元に戻ってしまいました。

・ECは、電気伝導率でイオンの多少を示します。去年は、かなり低かったのですが、今年は2018年以來1500を超えました。主な水源が工場の高度処理水なのでやむを得ない面はありますが、川としては異常に高いです。東久留米の某工場排水出口も高いです。

・CODは、上橋と浄水橋は4.0ですが、JR湧水が入っている御成橋は2.0と低いです。御成橋は、JR湧水とほとんど同じでした。

・透視度は、良くなっています。去年は、前日の雨で泥が巻き上げられていたのかもしれない。

### まとめ

今回は日曜日でしたが、雨の予報でしたので遊んでいる人は見かけませんでした。水の無い状態がずっと続いています。会の名前の通り、なんとか、水を！取り戻したいです。来年は、中学生・一般の方も一緒にできたらいいなと思っています。



上橋 思ったよりは水はありました



浄水橋下流 ここまでは、水がありました



御成橋上流 水たまり状態



御成橋 JR 武蔵野線湧水。水は出ていました



野行橋 水なし



大沼田橋 調査完了！

## 青葉小学習支援から 『空堀川は不思議の宝箱！』

島崎 よう子

4月、空堀川に清流を取り戻す会に青葉小学校の亀山先生から「2年生の総合的な学習で、川の体験学習をやりたい。」との相談がありました。昔は、子ども同士の川遊びや、地域のうるさいおじさんからいろいろな機会に、危ないことや面白いことを覚えたものですが、今はその機会がありません。当会でその役割を果たしたいと常日頃から考えていますので、待ってましたとばかりに引き受けました。当日は、「まちかど運動」のみなさんにもご協力して戴きました。

6月3日は、ありがたい曇天でした。

空堀川の東村山下流部は雨が降らないとほとんど水が流れていませんが、御成橋下は武蔵野線の湧水をポンプアップした水が20分おきに流入します。

その水を引いてワンドがあります。

今回の体験は、①川 ②ワンド ③草むらの3コース

ワンドではおっかなびっくりで動いていた子どもたちが、川にはバシャバシャと動き回り長靴の中はびちゃびちゃ音がする子がいます。たも網にドジョウやオイカワを見つけると大騒ぎ。ミシシippアカミミガメやカエルにも触って興味津々。帰りには桑の実やナヨクサフジを頂戴と手を差し出していました。



ワンド班



草むら班



仮の堰を作って水を溜めました



終わりの会

2時限でやるには時間が足りないコースですので説明は短くすることにしましたが、やはりムリでした。担任の先生は想定内だったようで、「この続きは秋にやりたいので、ぜひご協力をお願いします。」と、次の構想が膨らんだようです。亀山先生が終わりの会で言われた『空堀川は不思議の宝箱だ。学習しないのはもったいない！！』の言葉は私たちにとってはサイコーのご褒美でした♪

学習支援が担当の私たちとしては、空堀川のご褒美の発見の糸口づくりが成功だったということになります。その上、熱中症やけがなどに用意した救護所の出番がなかったことも良かったです。

青葉小からは担任2人の他に副校長、補助教員など6人の先生方が参加くださいました。

丈の長い草を刈ったり、ワンドの泥をすくったり水かさを調整したり、水路をいじったり、魚を移動させたり、危険個所にロープを張ったり、この2週間、楽しい準備をしてきました。



親水階段を下りてワンドへ

子どもたちによい体験をさせたい、けがのないようにと、仲間たちの一生懸命さに私は感動してしまいました。

北多摩北部建設事務所の職員さんからは、川で遊ぶ時の注意を話していただきました。私からは、家族と一緒にクリーンアップに参加のお願いをしました。

秋の第2段が楽しみ♪



送り迎えもサポートしました



私にも触らせて！



ナヨクサフジ

## 2021 年春の定例作業

### (市. 受託による収益事業)

原田 秀二

6月、毎年行われている「下堀広苑」「ふれあい広苑」の整備作業が巡ってきた。

梅雨時と重なり天候と「にらめっこ」しながら長期天気予報を見ると、中旬以降は連続して降雨の無い日は見当たらない。上旬ならば不安定ながら晴天が望めるので、会員皆様の意見を聞くことなく、独断で日程を決定し理事長には事後承諾して頂いた。下堀広苑作業は、天候に関しては二日目の終り間際に大粒の俄雨に降られた程度でした。作業日程は6月7日、8日に作業を行いました。雑草の生え方が疎らで、これはこれで刈り方がやり難く、刈払い機の刃が土に食い込んだり、小石を削ったりと難儀をしました。しかし、周囲の生垣周りにはそれなりに生い茂り、刈り草の小山が出来ました。特に上流側管理道路脇はかなりの量の草が刈り取られ、一旦広苑に仮置きし、ふれあい広苑の草と一緒に秋津秋水園に搬入しました。

ふれあい広苑の作業は6月10日、11日に行いましたが、10日は学童が多く通る本町児童館側を行い、11日は右岸側管理道路と広場の草刈りをしましたが、今まで堆肥醸成の場所が満杯状態になり、今回は今までの置き場から多量の枝葉や草を整理して搬出しました。



管理道路に仮置きした刈草の収集運搬、秋水園に搬入するにあたっては、分部氏の軽トラの威力が存分に発揮され、高齢化する会員の助けになりました。

秋水園には分部氏と宮崎氏が二人でホッパーへ軽トラで約900Kgを、300Kgを3回に分け落とし込み作業をするなど、大変な作業をしてもらいました。最終日の諸道具後片付けには分部、原田、宮崎、小池氏の四名で「ゆりのき倉庫」に収納いたしました。

作業に関しては、怪我もなく、熱中症や体調を崩す人も無かった事は、皆様のご協力のおかげだと思います。秋にも宜しくご協力お願い致します。ご苦労様でした。

\*作業日 6/8.9 6/10.11 の四日間。参加者：13名。延べ人数：44名。

## 理事長退任にあたって

友保 邦弘

1999年6月、定年退職してから2年目。落ち着いてきたころ、ぼつぼつ社会との繋がりが欲しいと考えていた時期にたまたま中央公民館で不思議なタイトルの冊子「がたろう通信 からぼり川」を目にした。川をフィールドにした環境保護団体「空堀川に清流を取り戻す会」の発行。ユニークな活動に惹かれて入会させてもらった。2000年にNPO法人となり、初代理事長の小林寛治さんからバトンタッチされはや10年、思えば長い22年間でありました。理事長を垂水荘司さん引き継ぐにあたって心残りは、「清流を取り戻す」活動に全く力不足であったことです。これからは会員の皆様のご活躍を陰ながら応援してゆきたいと考えております。未熟な私を長い間支えて頂きまして有難うございました。



ヤブカンゾウ



青葉小学

長い間、ありがとうございました お疲れ様♪

## 《 編集後記 》

小川 恭子

2018年の春の、空堀川の川まつりで当会に出会い、10月発行の第95号から編集を担当させていただいております。理事長初め、皆様の空堀川を大切にされる心に感動しながら、毎回楽しく編集しています。

青葉小学習支援に特別参加した空堀川の仲間たちをご紹介しますね♪



ミシシッピアカミミガメ



アズマヒキガエル

これまでの経過と今後の予定  
(2021/5/22~2021/10/23)

- ◎5/22 がたろう通信第106号発行
- ◎5/23 御成橋ワンドの整備
- ◎5/29 青葉小イベントの打ち合わせ  
(天王橋河原)
- ◎6/3 青葉小校外学習(空堀川)  
当会とまちかど運動の共同支援
- ◎6/6 身近な水環境の一斉調査  
(6/21に1部追加)
- ◎6/7 春の広苑定例作業  
~11 (下堀6/7、8 ふれあい6/10、11)
- ◎6/12 第266回定例会議(書面開催)
- ◎6/22 2020年度活動報告書を東京都に提出
- ◎7/5 2021年度第2回理事会
- ◎7/7 夏の草刈りでカンゾウを残すよう  
北北建に依頼
- ◎7/10 第267回定例会議  
(久々に対面会議。9名参加)
- ◎7/11 まちかど運動  
桜通り、空堀川などのCUに協力
- 8/17 がたろう通信第107号発行
- 8/29 御成橋ワンドの会(仮称)予定
- 9/11 第268回定例会  
(中央公民館2階第2和室9時~12時)
- 9 青葉小 校外学習(空堀川)の支援  
~10月(予定)
- 10/9 第269回定例会  
(社会福祉センター予定)
- 10/11~15 秋の定例作業
- 10/ 第7回子どもの水辺の樹木剪定作業
- 10/23 がたろう通信第108号発行

《新入会員の紹介》

青葉小学校 亀山草太先生

どうぞ宜しくね♪

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」  
では、会の活動を支援し参加して下さる方を  
募っています。 NPO 法人の活動に関心のある  
方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000円  
年会費 2000円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000円  
年会費 一口 10000円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000円  
団体・法人年会費 10000円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

\*\*\*\*\*

山 滴 る 自 力 で 挑 む 丸 太 小 屋	蓮 の 花 ひ ら り 水 面 に 重 なり ぬ	梅 の 里 ど の 庭 先 も 土 用 干 し	屋 敷 林 の 小 さ き 幣 揺 れ 涼 新 た	蝉 時 雨 塀 の ら く が き 昔 の ま ま	叱 ら る る 嬉 し き 父 と 吊 り し 蚊 帳	片 蔭 を 池 に 落 と し て 常 盤 松
あ や と り 句 会	喜 和	真	緑	紀 子	澄	索 山 子
						雑 木 林



# からぼり川

がたろう通信

第 108 号

2021年11月13日  
発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



## 2021年度第1回 臨時総会について

垂水 荘司

当会では5月15日の定期総会（書面開催）で新しい理事が選任されました、その後7月5日、7月10日の理事会において、新理事長に垂水荘司、副理事長に岡田一郎が指名されました。理事長の交代に伴い、事務所の所在地（理事長の住所）他の変更が生じ、定款の変更が必要になりました。定款の変更は23条の2の規程により総会の議決が必要になります。ここでおさらいをしておきますが、定款とは広辞苑によれば、「会社、公益法人、協同組合その他一般に社団法人の目的、組織並びにその業務に関する基本規則。またそれを記載した文書」とあります。

この度の臨時総会も定期総会と同じく、新型コロナ禍のため会場の制約、安心、安全を重視し、書面開催として9月13日付けで実施しました。

議案は 特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会定款変更に関する件。

集計は令和3年(2021年)9月10日郵送及び有志によってポストイングされ、配布議案書を9月21日で締め切り、返信封筒により到着されたものを有効としました。

評決の結果は、正会員44名、有効票数31票でした。過半数22票を上回り皆様のご協力により議案は承認された事を後日ご報告させて頂きました。

定款の変更は東京都生活文化局都民生活部管理法人課及び田無法務局への届けが必要です。当会は2000年(平成12年)に特定非営利法人として登記終了しましたが過去には2009年(平成21年)小林初代理事長から友保前理事長に交代された折に定款の住所の変更登記が行われました。私もこの折に理事に任命されました。

青葉小学習支援の様子



ワンドの魚に興味深々ト

その後NPO法の改正等に伴う定款変更が頻繁に行われていました。この改正に伴い当会の定款も変更認証申請が必要です。皆様方には御迷惑をおかけしますが、諸事情で遅ればせながら11月～年内に手続きを行う予定です。

## 青葉小学習支援から ー第2弾ー

### 『空堀川は不思議の宝箱！』

島崎 よう子

1学期の「空堀川体験学習」で、担任の亀山先生が終わりのあいさつで「この続きは秋にやりたいので、ぜひご協力をお願いします」の言葉通り、空堀川体験学習の第2弾となりました。

今回は、事前学習は「空堀川の水」と「魚の飼い方」について、オンラインで行いました。分部さんが当日朝、卵を産んだザリガニを捕まえた話をしたので、子どもたちのテンション上がりました！質問も続出。教室の隣で説明する私たちに子どもたちの歓声が聞こえてきてリアル感たっぷり。



そして、9月24日は、真夏日となり絶好の川遊び日和。数日来の降雨で、空堀川にしては珍しく豊かな水が流れて、仮堰も作らなくて済みました。今回は8時半から12時過ぎまで2時限を1クラスづつ、テーマは6本。

- ①空堀川への道中、道や川にごみ落ちていないか注意する
- ②空堀川の生き物をガサガサで探してみよう
- ③エビのお家づくり
- ④ワンド観察
- ⑤ミニミニ水族館でお魚さんとグータッチ
- ⑥竹筒水鉄砲で遊ぼう



子どもたちは、ガタロウおじさんたちの指導よろしくエビがたくさん採れて、タモ網からエビをつまんでペットボトルの小さな口に入れる方に苦労していました。



水鉄砲 2021.9



友保前理事長の投網をみた子どもたちから「お〜！」と歓声が上がりました。

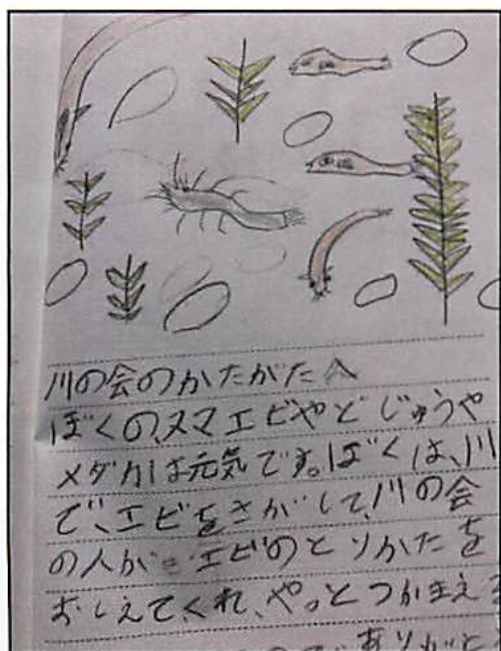
水鉄砲は、勢いよく水を飛ばしている内に、布切れが膨らみ、筒の中に棒が入らなくなりましたが、新しい遊び方を発見して大賑わい。暑さで濡れるのなんかへいっっちゃら！

前回も好評だった「ミニミニ展示」は、今回は特に触れられるようにしたのでよけいに喜ばれました。

また、ごみに喚起させる先生の着眼は成功して、「こんなにごみが落ちて」「自転車まである」「ペットボトルが多いね」とよく観察していました。



大きなザリガニにみんなワクワクです。



川の会のかたがたへ  
ぼくのマアエビやどじょうや  
メダカは元気です。ぼくは川  
で、エビをさがして川の会  
の人が「エビのとろかたを  
おしえてくれ、や」とつかまえる  
おソコと

後日、子どもたちが当日の感想を書いたファイルを読みました。感謝の言葉と共に、エビ取りや水鉄砲がとっても楽しかったことやエビなどを注意深く観察して飼いつづけていたり、あらたな疑問が書いてありました。亀山先生が「空堀川は不思議の宝箱学習しないのはもったいない！！」と言って下さった通り、深く学ぶきっかけとなり、お手伝いした「がたろう」として、大変うれしい♪「空堀川体験学習」を市内の小中学校へ広げたい思いを強くしました。

# 友保の活動記録

友保 邦弘

前理事長の友保邦弘は何をやったか、やれなかったか？（1999～2021年の記録）  
「空堀川に清流を取り戻す」ことを見届けることが出来なかった・・・最大の心残り。  
それでも細々ながらやったことはある・・・

引っ込み思案の性格にも関わらず、川まつりの実行委員長を務めてきた。コロナ騒動で2年間は中止になったが令和元年まで21回実施した。



空堀川・川まつり



グリーンアップ

当会のメインイベントの一つ、春と秋の空堀川グリーンアップ。ここ2年間はコロナの関係で会員のみで実施したが、これまで48回を数えた。

体験学習 わくわくワンドのカイボリ。近隣の中学生や市民参加で浄水橋ワンドのカイボリ。メダカ、オイカワ、モツゴ、コイ、フナ、ミドリガメ、スッポン、ウシガエルなど多くの生き物の避難場所になっている。



ワンドのカイボリ



ツツジの植栽

空堀川管理道路の植栽活動。近隣の小学生が野外総合学習でツツジの苗木を植えた。毎年きれいな花を咲かせてウォーキングの皆様の目を楽しませています。

プールのヤゴ救出作戦。プールの清掃で全滅するヤゴを救出し、川やミニ田んぼに放流したり自宅で飼育したり。ギンヤンマのヤゴを見つけた子どもたちは大興奮！



ヤゴ救出作戦

特技というほどのものではありませんが、こんな事も・・・



紙芝居 ヤゴ救出作戦



投網教室



男結び講習会



カヌー花壇

## 秋の下堀広苑、ふれあい広苑の受託事業完了！

原田 秀二

作業は当初下堀広苑を10/21、22。ふれあい広苑を10/25、26を予定していましたが、大桜の在る下堀広苑下流側の広場を「幼稚園の行事で8日に使用したい。ついては下草をきれいにしたい。」と市役所に申し入れがあり、市役所から前理事長へこの旨の連絡が入り、私へ前理事長から電話がありました。

機械運搬の都合で、何時もお願いしているW氏と相談し10/06としました。6月の作業ではこの広場は雑草の生え方も疎らで、それほど大きな困難は無いと思っていましたが、草丈が伸びて倒れ伏し地面にへばり付いた様な状態でした。

刈り取りのやり難さ、想像を超えた刈草の量とこれの始末に難儀をしました。さらに植込みの中に生えた草まで手が回らず一部刈り残しが出来、後日に回しましたが、それでも午後まで仕事を頑張ってくられた皆様に5時まで残って作業をお願いする事になってしまいました。

上流側は22日からですが、今までの気温が急降下、雨の予報に作業を延期して25日に行いました。

明け方まで降っていた雨も急速に回復し、10名と多くのご協力を頂き、気合を入れて作業をしたので順調に進み、午後から2名の方がふれあい広苑の草刈りに回って頂き、次の段取りがし易くなりました。天気予報当り3時から小雨降り出す。

26日ふれあい広苑整備作業に入り、曇り空でしたが身体を動かすには丁度良い具合でした。まず大袋小・児童の下校する前に本町児童館側・管理道路の植込みの下草刈り、ヘッジトリマー掛けをします。昼過ぎから右岸側の草刈りをしましたが、その最中にアズマヒキガエルを捕獲、四年生の男子児童は素手に蛙を乗せて喜んでいました。雨水計の近くでカボチャも見つけました。

ふれあい広苑作業二日目ですが、27日は参加人数が午後は3名では秋水園に持ち込むことも出来ず、加えて当日は雨もあり28日に順延しました。

この日は秋水園に刈草を搬入するため、ワゴン車の機械類を置いてから軽トラに乗り換え、下堀公苑の刈草を始末してふれあい広苑に回ってもらいました。

秋水園：往復3回、重量：800Kg、搬入とホッパー投入は運転のW氏、監督?のM氏の2名でしたので大変ご苦勞をお掛けしました。

残った刈草もそれなりの量でしたので、大変でしたが以前の堆肥醸成場所へ搬入いたしました。前理事長は雑木にドリルで除草剤注入処理をしました。

ワゴン車に機械類・諸道具を積み込んでいたら学校のチャイムが鳴っていましたが、倉庫へこれらを搬入し終了したら、PM5時を回っていました。



作業日 10/06、10/25、26、28日の四日間。 時間 9:00～12:00 13:00～16:00  
参加者：12名。(延べ参加人員：34名) \*ご協力感謝申し上げます。

## 世界の水道橋

小池 久雄

皆さん、水は貴重で大切な物である事をご存知と思います。

古代から現代に至るまで、我々人類はどれほど水を利用して繁栄をもたらしたか計り知れないです。その中でこの水道橋のもたらした意義は大きいです。時代と共に暮らし方も変わり、水を求めて手に入れる方法を考え、遠くから山を削り、トンネルを掘り、橋を作って、水を引き入れるのに知恵と多くの労力と長い年月を費やして、人と街に繁栄を作り上げたのに想像に絶する努力と忍耐があった事は確かです。

その痕跡が、現在世界遺産として残っております。

現在の生活では、蛇口をひねれば生活用水が出るのに慣れておりますが、まだそこまで行っていない国も数多くあります。地球外の星に水が有るか無いか調査する時代となっておりますが、我々の周りにある水を大切に使うことも考えなければなりません。

私達も、地に足を付けて、我々が先人から引き受けた空堀川の水を、動植物に潤いを与え、我々の憩いの場と繁栄をもたらす様に、清い水を次世代に託する責任があります。



琵琶湖疏水  
南禅寺  
水道橋

イスラエル  
ガイザリア  
水道橋



スペイン  
ラスファレス  
水道橋

## 清流を取り戻す会1年の感想

高橋成徳

会に所属し早くも一年を過ぎた今、私の会の貢献度は、草刈作業が主な仕事であり、これが私の出来ることです。これから先も、元気に安全に仕事を続けたいと思います。これが私の祈りです。

私たちボランティアでやっている作業で、他山の石となるような共通の問題と思う報道が、先日TVであった。ボランティア活動中に起きたもので、チェーンソーを使った材木切断中の事故で、死亡事故に繋がったと報じていた。

考えてみれば、私たちの仕事も、一歩間違えば事故に直結した仕事をしているのだと、常に認識しなくてはならないと思う。

国は労働災害を無くすために、各種労働に必要な技能を習得するように教育を行っている。しかし、講習を受けたからと言ってすぐにできるものではない。習うより慣れろ、実際に作業を経験して覚える危険な状態に陥る。そのようにして事故に遭う方が多いはずである。その得難い現象を再度起こさぬように、自分でも他の人達にも、情報として伝え共有できる場として、朝礼時のミーティングが、とても良いことだと思う。人は他人に言われて初めて気が付くことがある。そういう事例の良いもの、悪いものの引き出しを多く持つことが、なにかの対応の助けになれば幸いである。

朝、家を出てカエル🐸迄、皆で元気に安全に、仕事を続けていけることを願っています。

これまでの経過と今後の予定  
(2021/7/5~2022/1/8)

- ◎7/5 第2回理事会 地域福祉センター
- ◎7/10 第267回定例会 地域福祉センター
- ◎7/11 まちかど運動  
桜通り、空堀川の一部 クリーンアップ
- ◎8/17 がたろう通信第107号発行
- ◎8/28 第3回理事会 地域福祉センター
- ◎8/29 御成橋ワンドの会  
空堀川に清流を取り戻す会と  
まちかど運動協賛
- ◎9/7 御成橋ワンド改修の打ち合わせ  
北々建工事第2課 富岡建設
- ◎9/10 空堀川臨時総会資料配付  
中央公民館にて
- ◎9/11 空堀川268回定例会  
中央公民館2階第1会議室
- ◎9/13 2021年度第1回臨時総会 中央公民館
- ◎9/14 青葉小学校学習支援  
第一次学習(オンライン)  
当会から2名参加
- ◎9/23 青葉小学校校外学習支援準備作業
- ◎9/24 青葉小学校2年生校外学習支援、  
1班34名、2班33名  
先生4名参加
- ◎10/6 秋の定例下堀広苑整備(下流)作業  
(市みどりと公園課による要望)
- ◎10/9 第269回定例会  
中央公民館2階第1会議室
- ◎10/11 空堀川浄水場側 ワンドの整備
- ◎10/25 秋の定例広苑作業 下堀広苑(上流)
- ◎10/26, 28 秋の定例広苑作業 ふれあい広苑
- 11/13 がたろう通信第108号発行
- 11/13 第270回定例会  
中央公民館第2和室
- 11/20 秋の空堀川クリーンアップ  
(会員のみによる)
- 11/30~12/5 東村山市 環境フェア
- 12/11 第271回定例会 中央公民館予定
- 12/末 忘年会予定
- 1/8 第272回定例会議 会議室未定

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」  
では、会の活動を支援し参加して下さる方を  
募っています。 NPO 法人の活動に関心のある  
方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000円  
年会費 2000円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000円  
年会費 一口 10000円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000円  
団体・法人年会費 10000円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

\*\*\*\*\*

屋上へ辿るスロープ 罌雲	負うた子にスマホを習ふ 秋日和	白々と軌道を追ひし 十三夜	小きざみに波打つ川面 水澄めり	縁側の見慣れし景色 柿熟るる	掌にのせて坊ちやんか ぼちや 慈しむ	稜線の色の褪せゆく 暮の秋
--------------	-----------------	---------------	-----------------	----------------	--------------------	---------------

あやとり句会

喜和	雑木林	真	緑	紀子	澄	紫山子
----	-----	---	---	----	---	-----



# からぼり川

がたろう通信

第 109 号

2022年1月22日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



## 新年明けましておめでとうございます

垂水 荘司

NPO 法人 空堀川に清流を取り戻す会が設立されて今年で22年目を迎えます。大変喜ばしい限りです。これまで永きにわたり、会の活動を継続して来られましたのはひとえに、関係者各位と当会会員の「空堀川」に思いをはせる気持ちがあつての事と感謝しております。当会の活動も1昨年、昨年と約2年に及ぶコロナ禍による制約があり、特に昨今は新たな変異株に、さらに肝を冷やすような「オミクロン株」が蔓延しつつあります。世界保健機関 (WHO) はデルタ株並の警戒を呼びかけております。株の名称はギリシャ文字で「アルファ」や「ガンマ」に続く15番目の文字で直前の2文字「ニュー」と「クサイ」をあえて飛ばしているそうです。

さて本年は「オミクロン株」動向が非常に気になりますが、当会の企画も地域の皆様と共に実行に移せるように切に望んでおります。

今後も感染予防対策に十分配慮して参ります。新年もまだ皆様には満足のごく活動が出来かねない場合も想定されますが、ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

最後に昨年から新しい役員体制となりました、今後共「NPO 法人空堀川に清流を取り戻す会」会員共々尽力して参ります、皆様の更なるご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

皆様におかれましてはくれぐれも「コロナ禍」に留意され、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



## 青葉小の空堀川的环境学習

空堀川は不思議の玉手箱、勉強しないのは勿体ない

分部 光春

明けましておめでとうございます。コロナに注意してお元気に新年をお過ごしでしょうか？これからも「オミクロン株」には十分注意して頑張ってください。

去年は、息の詰まるようなコロナ禍で、当会の環境保護活動も活動を制限されたと、同様に小学校の校外学習などにも大幅な制限がされ、電車、バスなどの公共交通の使用が禁止で学校近隣での野外学習が、がぜん注目される状態となり、感染対策の容易な野外での開催が推奨されることになりました。出来ない事を憂慮するより出来る事を考えて安心安全な校外学習をやって行こうと言う指導内容です。

そこで青葉小の亀山先生より、青葉小学校に親交のあった島崎さんを通じて、空堀川での校外学習の支援についてのお願いがあり、活動したくてウズウズの会員と、御成橋ワンドで「空堀川自然観察会」を毎年実施している、地域福祉団体「まちかど運動」実行員会と協働で、青葉小学校の2年生の空堀川環境学習の支援をさせて頂くことになりました。（竹藪の地主さんや、コンビニにトイレなどのご協力頂きました）

当然、東京都新型コロナウイルス感染対策と学校運営に関するガイドラインに従った感染症対策に十分配慮して、青葉小学校、当会、「まちかど運動」の3団体でよく打ち合わせの上、生徒の安全第一、生徒の気分転換としての遊びの部分の有る、学習内容とさせて頂きました。



がたろうサンは前日準備に  
大忙しです



東京都職員の川の安全  
についての話



ここは武蔵野線の湧水。  
で先生は一生懸命

6月3日、空堀川環境学習、の前日から草刈りや危険地域のロープ張りなどをして安全対策には十分な準備をして、当日は快晴で絶好の校外学習びより？東京都職員の川の注意事項や当会理事長の挨拶、環境学習として川のゴミの話なども有ったり、支援団体「まちかど運動」のメンバーの紹介もあって、環境学習の始まりです。（学校からワンドまでゴミ拾いをしました）体験コースは、ワンド組、川の生き物観察組、草むらグループの3チームの回転ずし方式で盛りだくさんの内容で、ちょっと大変でしたが、生徒はみんな大喜び、チョット勉強と言うより体験会の様になりましたが、先生の「空堀川は不思議の玉手箱。勉強しないのは勿体ない」の一言で、9月の小旅行扱いでの再度の実施が決まりました。9月14日には事前勉強会をリモートで行い、当会の会員も初めてのことで、タドタドでしたが子供たちはどんどん質問なども出て先生役の会員は大忙しでした。準備は大変でしたが24日の様子は画像をご覧ください。

# — すごいぜ空堀川！ —



初リモート授業の  
島崎さんも緊張気味



9月24日は垂水理事長の  
橋のお話から



亀山先生の熱血授業の  
始まりです



ガサガサでがたろうサンは  
大忙し!



初めての竹筒水鉄砲に  
大はしゃぎ



脱皮したザリガニさんに  
ビックリ!



ミニ水族館のカエルや  
カメさんは大人気



ザリガニはなん匹卵を産む  
の? 100~200 びきだよ~!



熟練の投網の技の披露中



お帰りは「まちかど運動」  
の見守り付きです



ニコニコ顔で水族館用の  
カメさんゲットです



結局一番楽しんだのは、  
オジサンたち

空堀川環境学習は、絵日記、すごいぜ空堀川の発表会。感想文と。次号に、まだまだ続きます。

(4)

## 第5回東村山市環境フェアに参加しました

平田 健一

2021年11月30日(火)～12月5日(日)に開かれた東村山市環境保全課 主催の環境フェアに参加しました。市民団体は、当会・北川かっぱの会・東村山エナジーとガイガー東村山&ガイウェイ東村山です。その他に、東京ガス㈱、ごみ減量推進課、秋水園施設整備課、下水道課、みどりと公園課でした。当会会員が交代で説明しました。お疲れ様でした。

空堀川の水枯れの現状と原因・対策、水質調査と放射線量の測定結果のA1のパネル6枚に当会の活動のパネル2枚を追加しました。1枚は隣の下水道課の許可を得てそのパネルの上に展示させていただきました。空堀川の魚(オイカワ・モツゴ・メダカ・エビ)他も展示しました。これを見て、「本当に空堀川の魚ですか?」と聞かれる方が多かったです。

今回は私からお願いして、隣の下水道課のスペースに浸透マスが展示されました。下水道課の浸透施設・貯留施設のパネルと助成金のパンフレットが置かれました。今年度から助成金の金額と適用地域が拡大されています。



当会の展示全景



空堀川の魚(少し多すぎたかも…)



青葉小生き物さがし



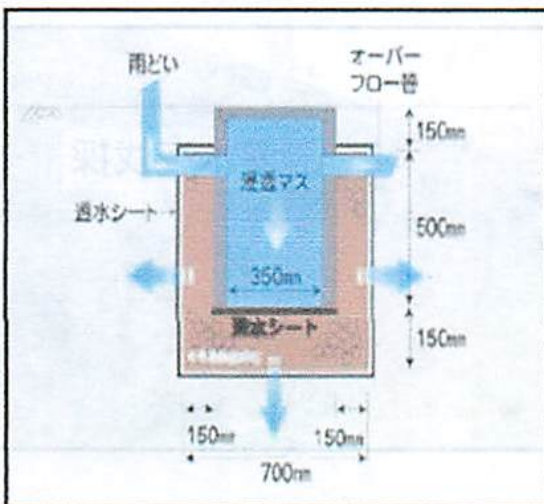
ワンドの整備・樹木の剪定  
(下は、下水道課のパネル)



下水道課の雨水貯留・浸透マス助成制度の説明



雨水浸透マス



浸透マスは左のような構造で、浸透マスの周りに碎石を入れ、その外側を透水シートで巻きます。一軒の家に数箇所設置します。

これが普及すると、降った雨が一度に川に流れず、地下に浸透して地下水になり、ゆっくり川に出てくるようになります。

洪水が起こらない、いつも水が流れる川になるのです。

東村山市は、宅地が市の面積の 55%+道路 15%=70%が地面に水が染み込まない不浸透面になっています。これが問題です。

小金井市は、50%以上の宅地に浸透マスが設置されていて湧水が保全されています。東村山市も、そのようにすればもっと安全な・楽しい街になると思います。

今年は、市内の市民の方以外に武蔵村山市の市議さんも見えました。

\*\*\*\*\*  
\*編集中心記\* 編集作業中に、東京に雪が降りました。 \*小川 恭子\*  
\*\*\*\*\*

空から降ってきた「雪の結晶」をじっくりと見た事がありますか？  
雪の結晶の形は1つとして同じ物は無いと言われるほど多様な形があります。ふわっとした牡丹雪のときに、黒いコートの上などに雪をつけてみると、六角形の結晶が肉眼で見られます。  
「天から送られた美しい手紙」に目を通してみてくださいね。



(6)

## SDG s な樹木管理



友保 邦弘

昨年の会報1月号の新年挨拶で触れましたが、令和2年12月から着手した子どもの水辺の樹木剪定作業は令和3年度11月までで7回目を終了しました。今年度1月に予定している第8回でA～Fまでの全6区域を一巡します。同様の手順で本年度も、12月頃から樹木剪定作業を開始する計画です。

「SDG s な樹木管理」・・・とは少し大げさですが目標15番「陸の豊かさを守ろう・・・森林の管理」に含まれる内容ですので今回取り上げました。

第7回の作業写真です。河道内に生えて流水を阻害する灌木を伐採しました。



流水を阻害する灌木



灌木を伐採

河道内にはみ出したオオムラサキツツジは流水の邪魔になる垂れ下がった部分だけをカットし、春に綺麗な花を咲かせる部分は残しました。水害防止と景観保全を考慮した「SDG s」作業です。(写真)

このような方法で、今後も河道内樹木の管理を継続してゆくつもりです。



流水を阻害する部分  
をカット



春には満開

# 第49回 空堀川 秋のクリーンアップクリーンアップ報告

小川 恭子

実施日：2021（令和3）年11月20日（土曜日） 天候：晴れ

	参加人数	ゴミの量	粗大ゴミ他	区間
第一会場 20日	7 当会会員のみ	70L30袋 (内倉庫裏25袋)	タイヤ1本、傘5本、エレキギタ ー1本ほか	上橋～ 天王森橋
第二会場 18日	5 当会会員のみ	70L11袋	鉢3個、傘2本、ベニヤ板3枚、樹 脂製バー1本ほか	天王森橋 ～丸山橋
第二会場 20日	11	70L33袋	自転車1台(タイヤなし)、バイク 用マフラー1本ほか	丸山橋～ 大沼田橋
合計	23	74袋		

18日（木）に事前クリーンアップとして5名が天王森橋～丸山橋を行ってくださいました。この日に限らず、普段から空堀川パトロール隊が、見回りをしてくださっているのです。空堀川のトラブルはほとんどないようです。

20日（土）第一会場7名、第二会場11名（森永乳業3名、子供1名、会員7名）に分かれ、作業に入りました。亀山先生とお子さん、野瀬さんも初参加です。



第一会場のメンバー



第二会場のメンバー

ごみ集積場所は、第3なかよし広場、丸山橋と下堀橋とし、前回と同様に分別無しで東京都の委託した業者が午後に回収しました。軽トラが大活躍でした。

同日、東大和の「空堀川を考える会」も秋の清掃活動を行っておりました。また、東京都の依頼で、㈱アンテックが、バギー等を使用してゴミ収集をしていました。

秋晴れの中でのクリーンアップ、想定よりゴミは少なかったようでした。

今回も、新型コロナウイルス感染の第5波からの収束中のため、前回4月と同様に当会会員と森永乳業さんのみで実施しました。今年は、コロナと共存する対策を考えながら、広報などで一般の方々へ広く呼び掛けていく計画です。多くの皆さまとともに空堀川を大切に綺麗にしていきたいと思ひます。

川の浄化は、心の浄化！

毎回、なぜこんなところにこんなものかと思うものが川に捨ててあり、驚くことが多いです。自転車、タイヤ、布団、エレキギターetc…



なぜ川にエレキギター？

これまでの経過と今後の予定  
(2021/10/6~2022/1/31)

- ◎10/6 秋の定例作業 下堀広苑整備 (下流)
- ◎10/9 第 269 回定例会
- ◎10/11 空堀川浄水場側ワンドの整備
- ◎10/23 秋の定例作業 下堀広苑整備 (上流)
- ◎10/25、28 秋の定例作業 ふれあい広苑
  
- ◎11/13 第 270 回定例会
- ◎11/15 東村山市公園事業  
指定管理者制度導入について  
現状説明会
- ◎11/16 第 7 回子どもの水辺 樹木選定作業
- ◎11/20 第 49 回空堀川秋のクリーンアップ
- ◎11/21 がたろう通信第 108 号発行
- ◎11/30~12/5 東村山市環境フェアに出展
  
- ◎12/11 第 271 回定例会
- ◎12/25 まちかど運動  
・空堀川に清流を取り戻す会協賛  
桜通り、空堀川の一部クリーンアップ
  
- 1/15 第 272 回定例会
- 1/22 がたろう通信第 109 号発行
- 1/ 子どもの水辺 樹木選定作業予定



可愛いボランティアも活躍中!

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」  
では、会の活動を支援し参加して下さる方を  
募っています。 NPO 法人の活動に関心のあ  
る方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円  
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円  
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円  
団体・法人年会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願いいたします

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

\*\*\*\*\*

佇めば枯野にはかに近づき来  
 大根干す軒に海風吹き荒ぶ  
 あかぎれを見せ合ひ弾む会話かな  
 水仙の折れて川面を覗くかな  
 城跡に猫一族の日向ぼこ  
 急流となるは枯葉の作る堰  
 裏白の育つ水辺を遡る

あやとり句会

喜和 紫山子 雑木林 真 緑 紀子 澄



# からぼり川

がたろう通信

第 110 号

2022 年 5 月 30 日

発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ: <http://www.karaborigawa2.org/>

ブログ: <http://karabori.exblog.jp/>

発行責任者 : 垂水 荘司 TEL 090-8050-5662 東村山市青葉町 2-24-59

ホームページ



ブログ



## 定期総会を終えて

垂水 荘司

5月14日(土)定期総会を終えました。2020年から定期総会はコロナウイルス禍により書面開催が続きました。今回は第23回、3年ぶりの対面開催でした。出席者12名、委任状13名、43名の2分の1である22名以上をクリアーしており、総会は成立いたしました。

第1号議案2021(令和3)年度事業報告・収支決算及び2021年度監査報告の承認を求める件は、問題ありませんでした。

第2号議案2022(令和4)年度事業計画(案)及び活動予算書(案)の承認を求める件では、今年度よりその他の事業(従来の収益事業)に関して、2022年7月より指定管理者との協議が現在進行中であり、今後の展開にゆだねることになります。示された1部の作業は従来のように継続出来そうですが、空堀川、下堀広苑・ふれあい広苑植え込み手入れ作業については、会員皆さんの意思統一が図られた時点で交渉再開となります。

当会会員の高齢化、及び人員不足を今後どのように補うことが出来るか、現状でも健康を害している方が数名おります。皆さんには早期の回復を願うばかりです。

第3号議案は定款の変更を求める件ですが、担当して下さいました会員の懸命な努力のお陰で、過去数年の定款の変更部分も含め田無法務局、東京都への届けが無事終わりました。

新年度に向けて会員一同、空堀川の環境改善に尽力を注ぐ決意です。

5月3日、5日に第一回 空堀川・鯉のぼりフェア開催



# 第50回空堀川春のクリーンアップ

垂水 荘司

恒例の春と秋に行われている空堀川クリーンアップは、2022年4月16日(土)に行われ通算50回になります。以前4回は新型コロナ禍のため安全を考慮して会員のみの実施でしたが、今回は市報などで一般市民にも呼びかけての実施でした。

好天にも恵まれ気温も18°Cのクリーンアップ日和でした。

活動の範囲は第一会場(上流部)は上橋～西武新宿線高架橋間、第2会場は(下流部)なかよし橋～大沼田橋間、一部西武新宿線高架橋～丸山橋間は4月12日に事前クリーンアップで会員のみで行い、収集ゴミは有志の車に保管、当日下堀橋に堆積したゴミと一緒に処理した。



やったぜ！ごみ拾い  
(クリーンアップ)



御成橋ワンドでJ:COM取材中

今回は下流部で早朝9時からJ:COMさんの取材があり、開始の挨拶からクリーンアップ活動を取材された。参加人数が少なく、上流部から数名の応援を仰ぎながら取材に応じ、4月19日「たまるくと」でTV放映された。当会のこのような活動がマスコミに取り上げられるのは、過去にはなかったことです。



クリーンアップ取材中



体温測定、除菌スプレーをセットし  
コロナ対策も実施いたしました。

特別出演

カタツムリ



コウガイヒル



## 参加者

会場	一般	行政	当会	合計
第一	12名	1名	2+(4)名	15+(4)
第二	大人 12名 子供 5名	0	5+(4)名	22+(4)
計	29名	1名	7+(4)名	37+(4)

( )内は応援人数を示す

## ゴミの量

会場	ゴミの量	粗大ゴミ他	区間
第一	90L:7袋 可燃ゴミ 90L:1袋 不燃ゴミ 45L:7袋 空き缶 45L:1/2袋 PV 分別あり	クーラーボックス1個、回転椅子:1脚 衣装ケース3段組:1個、竹筒:40本 竹ぼうぎ:1本、ビニル傘:3本 小型立ち入り禁止看板:1枚 木材:1対	上橋～西武新宿高架橋
第二	90L:7袋 70L:10袋 電気炬燵器具:1袋 ポラテア袋:7袋 分別なし	加湿器 :1台、ペルー缶(10L):1缶 スチール引き出し:1段、傘:1本 網高さ90cm:1巻き プラスチックシート200×900:20枚 樹脂製ゴミ箱:1箱	なかよし橋～ 大沼田橋

第一会場では1部保管ゴミも含めて分別し、東村山市委託の業者に処理を依頼した。  
第二会場では事前クリーンアップのゴミと一緒に無分別で、北北建委託の業者に処理を依頼した。

第一会場、第二会場ともゴミの量は従来より減少傾向にあり、市民の環境に対する意識の向上が図られているものと思われた。



事前クリーンアップに住民の方から熱い声援が



事前クリーンアップで集めていたゴミ

今回のクリーンアップには、青葉小2年生の学習支援を行ったときのお子さん一家3組+こどもたち、そして先生も参加してくれました。空堀川の学習から川のクリーンアップを身近に感じてくれた学習支援の効果と考えられ、大変うれしく思いました。

さらに、当日参加者の中に、当会への入会を希望される方が2名おられたのは大変うれしいニュースでした。

# 第1回 空堀川・鯉のぼりフェア (5月3日)

友保 邦弘

東村山名物の「空堀川・川まつり」は今から27年前、1995年に河川改修を記念して行われた「空堀川通水祭り」をスタートにして以後21回行われました。最近2年間はコロナ禍のため中断しています。

今年は数年前から当会で構想を練っていた「川に特化したイベント」として「空堀川・鯉のぼりフェア」を実施しました。市民の皆様から委託された鯉のぼり100匹が泳ぐ大空のもと「からぼり広場」にて五月晴れの5月3日と5日に開催しました。

3日の参加者は名簿記入者だけで150名。会場全体の人出はざっと300名ぐらい。先ず主催者代表の挨拶から始まって、川の勉強会、ゴミ問題、水質調査、災害時食糧配布訓練などのイベントに続いて、プロの釣り師の妙技見学、投網の体験、そして最後はタモアミ片手にガサガサで魚や水棲生物の捕獲・観察。五月晴れの下、大盛況、大満足の初日を終わりました。怪我や事故も無く大勢の参加者に楽しんでいただきました。



先ずは理事長のご挨拶

五月晴れのもと、開会！



川の話でお勉強

川の水は、実は99% 工場排水です



都の職員さんの水質検査

飲めないけれどキレイだから魚は住めますヨ！



分かった人は手を挙げて

ハイ！



メインイベントはガサガサ  
パママは岸から応援

ドジョウも捕れたよ！



パパさん 投網初体験

お上手！ほんとはじめて？

# 第1回 空堀川・鯉のぼりフェア (5月5日)

5日は最終日。またもや絶好の快晴。参加者は120名。広場の人出は実に400人。例によって挨拶、川の勉強、ゴミの勉強、食料配布などに引き続き、竹の水鉄砲作り、ササ舟作り。消防隊の本物放水と水鉄砲の飛ばしっこ。最後は恒例の投網体験とガサガサ。



子供たちの放水体験



沢山ご参加の避難所訓練、緊急食糧配布とセットです



皆でそろって一斉放水



投網を使って大成功



只今、準備中



二日間のすべてのイベントを終えてワイヤーに絡まった鯉のぼりを下したときにハプニング!子供たちが鯉のぼりの「胎内くぐり」をやりだした。これは面白い。来年はイベントに追加することになった。二日間にわたって参加者の皆さん、スタッフの皆さん、十分楽しみましたネ。お疲れさまでした。来年また頑張りましょう!!



来年のお楽しみ胎内くぐり

## 「川の見てある記」 (理想の空堀川を求めて)

分部 光春

理想の空堀川を求めて、川の見てある記と銘打って、全国を仕事のついでにとこつけて色々まわっています。今回は、全ては自分と川の会の為と言うお話です。

4月30日～5月1日で鯉のぼりフェア準備で大忙しの時に？福島方面で川の見て歩き！

まずは阿賀野川水系押切川、この川は会津盆地の急流で有名落差工のうんぬん訓ぬんをお話して、101mのロックフィルダムの日中ダムの大きさと美しさにビックリ！放流も偶然出くわせました。花より団子のフキとヨモギ取りに大忙しの人も。そんな事で、まずは自分たちの為にと言うお話です。



水仙の先に101mの日中ダム



珍しい放流シーン



花より団子でフキ取りにダッシュ！

続いては阿武隈川水系の松川上流に此方は上流の姥湯で有名な清流ですが、幾たびかの水害で大荒れの暴れ川です。秘湯姥湯は40年程前の土砂崩れで、流失しましたが5年をかけ復旧、今は人工の石積みもみごとに自然になじんでいます。新幹線がまじかを走る秘境駅の峠駅にビックリして吾妻山地に似合わない風力発電所にムーっとしたり、クマにおびえてのクマザサ取り、みんなみんな川の会の為。大きなクマザサで小池先生のササ舟作りは大好評でした。



秘境の峠駅を新幹線が爆走！



見事に復旧の松川源流の姥湯



似合わない吾妻連峰に風車



鯉の甘露煮で地元グルメを堪能



滑川温泉近くの湿地帯に  
水芭蕉の群生が！



秘湯の露天風呂でササ舟講習会

そんな事で会の為のササ取りと鯉のぼりフェアの英気を養った、川の見てある記です。

## ◇◇◇ 新入会員紹介 ◇◇◇

亀山 草太

昨年度は、青葉小学校2年生の学習で大変お世話になりました。

青葉小5年目、中堅&中年教員の亀山草太です。

1年間の学習を通して、子どもたちはここに書ききれないほどたくさんのお話を学びましたが、私自身も、

- ・空堀川は、貴重な自然を真ん中に、世代を超えて、誰もが気兼ねなく交流できる場である。

- ・水辺の生き物にとっても、人間にとっても、癒しの場である。

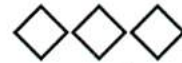
ということをお心と体で学ぶことができました。

そんな空堀川の自然を守り、育て、豊かな町づくりの種を蒔き続けているがたろうさんの活動について、教員として、市民として、まだまだ学ばせていただきたいという思いがあります。

クリーンアップのたびに「ゴミ〇〇個も拾っちゃったなあ〜。」と、誇らしげな4歳の息子共々、今後とも宜しくお願いします。



## ◇◇◇ 空堀川の春の花々 ◇◇◇



写真：原田会員提供



クレソン



オキザリス



スノーフレーク



オオアマナ



シロツメクサ



ハルノゲシ



ヒルガツキミソウ



ベニシジミ



カラスノエンドウ

これまでの経過と今後の予定  
(2022/1/15~2022/6/30)

- ◎ 1/15 第 272 回定例会
- ◎ 1/21 御成橋脇ワンド整備  
及びアシ、ガマ、フイト移植
- ◎ 1/22 がたろう通信第 109 号発行 (600 部)
- ◎ 2/16 定款変更手続き、田無法務局に申請
- ◎ 2/19 第 273 回定例会
- ◎ 2/20 オンラインによる理事会開催 (初試み)
- ◎ 2/20 子どもの水辺樹木剪定作業
- ◎ 3/05 子どもの水辺第 8 回河道内樹木剪定作業
- ◎ 3/09 子どもの水辺・小彼岸桜等の管理に関する期間延長書類を(押印済み)北北建に郵送
- ◎ 3/09 定款変更手続き(一部修正)田無法務局に申請
- ◎ 3/10 浄水場~馬頭橋間の樹木剪定作業
- ◎ 3/12 第 274 回定例会
- ◎ 3/27 よろず交流会に 4 名参加、指定管理者制度に係わる会
- ◎ 4/01 子どもの水辺、小彼岸桜等の管理に関する覚書期間延長書類北北建より押印済み受理
- ◎ 4/09 第 275 回定例会
- ◎ 4/16 クリーンアップ (事前は 12 日)、第 2 会場では J:COM の取材を受け 19 日 TV たまろくで放映
- ◎ 5/3, 5 鯉のぼりフェア開催、  
4/28~5/7 鯉のぼり掲揚  
空堀川環境学習、笹舟、水鉄砲づくりなど
- ◎ 5/07 第 23 回定期総会資料発送
- ◎ 5/14 2021(令和 3)年度第 23 回定期総会  
第 276 回定例会
- 5/28 第 4 回理事会
- 5/30 がたろう通信第 110 号発行
- 6/05 身近な水の一斉調査 (環境デー)  
環境学習支援の準備作業
- 6/06 青葉小 空堀川の学習会
- 6/07~10 定例春の広苑整備作業
- 6/11 第 277 回定例会

会員募集

NPO 法人「空堀川に清流を取り戻す会」では、会の活動を支援し参加して下さる方を募っています。 NPO 法人の活動に関心のある方はお問い合わせください。

◎会費は次の通りです。

個人の場合 : 入会金 2000 円  
年会費 2000 円

団体・法人の場合 : 入会金 一口 10000 円  
年会費 一口 10000 円

賛助会員(入会金不要) : 個人年会費 2000 円  
団体・法人年会費 10000 円

◎ 会費振込先 : 郵便振替

口座名 : がたろう

口座番号 : 00130-3-729803

◎お問い合わせは下記までお願い致します。

東村山市青葉町 2-24-59

垂水 (たるみ)

TEL : 090-8050-5662

\*\*\*\*\*

捨つるもの山積みにして梅雨迎ふ	麦の秋からりと乾く柔道着	三年を暮らせば馴染む金魚かな	新緑のぐんぐん太る樺かな	枇杷ひとつ残され言葉なき列れ	跡継ぎは厳しき顔の袋掛け	紫の風くる小窓桐の花
喜和	澄	紫山子	雑木林	真	緑	紀子

あやとり句会